

EZ-950 EZ-750 EZ-550

Portable Navigation

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



My-Kenwoodのご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。
下記ウェブサイトで会員規約をご確認になり、My-Kenwood をご利用ください。
<https://jp.my-kenwood.com>

目次

安全上のご注意	6
使用上のご注意	11
動作の種類と走行中の制限について	12
制限される主な機能	12
走行/停車判定方法について	12
SD/SDHCメモリーカードについて	13
取り扱いについての注意	13
メディア及びファイルについて	14
B-CAS カードについて	
(EZ-950のみ)	16
取り扱いについての注意	16
簡単機能ガイド	17
ナビゲーション機能	17
音楽や映像を楽しむ	17
情報確認や各種設定の変更	18
内容物の確認	19
内容物について	19
本書の読みかた	20
本書の構成	20
本書の表記	21

取り付け / 配線のしかた

本機取り付け	22
車に吸盤スタンドを取り付ける	22
ナビゲーションの取り付け位置について	22
取り付けの前に	23
取り付け上のお願い	23
取り付け角度について	24
吸盤スタンドの取り付けかた	24
シガープラグコードを接続する	27
吸盤スタンドの取り外しかた	28
テレビ用フィルムアンテナ(別売品)	29
テレビ用フィルムアンテナ(別売品)について	29
車にテレビ用フィルムアンテナ(別売品)を	
取り付ける	29
フィルムアンテナの取り付け位置について	29
取り付け上のお願い	29
取り付けの前に	29
フィルムアンテナ(L)の取り付けかた	30
フィルムアンテナ(R)の取り付けかた	33

基本操作

基本操作	34
各部の名称とはたらき	34
電源について	35
電源ボタンについて	35
シガープラグコードで使用する	36
本機の電源を切る	36
SDメモリーカードを挿入する/取り出す	37
SDメモリーカードを挿入する	37
SDメモリーカードを取り出す	37
B-CASカードを挿入する/取り出す	
(EZ-950のみ)	37
B-CASカードを挿入する	37
B-CASカードを取り出す	37
タッチパネルの基本操作	38
本機の画面/リストの操作	38
メインメニュー画面での操作	39
地図画面表示の切替	40
地図を2画面表示にする	40
高速路図/ターンリスト表示の切替	40
周辺施設を表示する	41
文字入力のしかた	41
キーボード形式で文字を入力する	41
テンキー形式で文字を入力する	42

ナビゲーション

地図の見かたと操作	43
現在地図画面の見かた	43
ランドマークの情報を見る	44
ゾーン30表示について	44
地図の縮尺を変える	44
スケールバーで縮尺を変える	45
ピンチアウト/ピンチインで縮尺を変える	45
市街地図について	45
地図の表示方法を切り替える	45
地図をスクロールする	46
スクロール地点の情報について	46
ナビゲーションの流れ	47
自宅を登録する/自宅に帰る	48
自宅を登録する	48
自宅へ帰る	48
自宅情報を編集する	49
自宅情報を削除する	49
行き先を探す	50
検索結果画面での営業時間外表示について	50
名称から探す	51
エリアを指定して絞り込む	52
ジャンルで絞り込む	53
住所から探す	53
周辺住所から探す	54
電話番号で探す	54
メモリ地点から探す	55
ジャンルから探す	55
エリアを指定する	56
緯度経度で探す	56
履歴から探す	57
履歴を削除する	57
地図から探す	58
周辺施設から探す	58
ルートの探索と案内	59
ルートの探索と案内を開始する	59
目的地に設定してルートを探索する	59
ルートの探索条件を選択して案内を開始する	59
複数の到着地点情報があったとき	61
デモ案内でルートを確認する	61
ルート案内画面について	62
一般道路でのルート案内	62
高速道路でのルート案内	63
ETC レーン表示	63
案内ポイントでの割り込み表示	63
ここです案内表示	63
交差点案内図の表示	64
側道分岐イラスト	64

高速入口イラスト	64
高速道分岐イラストの表示	64
細街路案内について	64
逆走注意喚起について	65
音声案内について	65
進行方向の音声案内	65
合流/踏切の音声案内	65
一時停止の音声案内	65
リクエスト案内	65
ルート学習について	66
ルートを再探索する	66
地図画面からルートを再探索する	67
ルートを編集する	67
経由地(追加目的地)を追加する	67
[ルート]から経由地(追加目的地)を追加する	68
ルート沿いを考慮して経由地(追加目的地)を追加する	69
目的地・経由地(追加目的地)の順番を入れ替える	70
目的地・経由地(追加目的地)を削除する	70
利用するインターチェンジを変更する	71
変更したインターチェンジを解除する	72
ルート案内を中止する	72
ルート案内を再開する	73
目的地設定を解除する	73
ルートから外れたときは	73
地点を登録する	74
地点を登録する	74
[目的地検索]から地点登録する	74
地図をスクロールして地点登録する	74
現在地を地点登録する	74
メモリ地点編集から地点登録する	74
登録した地点をリストで見る	75
メモリ地点を編集する	75
マークを編集する	76
地図に名称を表示する	76
名称を編集する	76
名称読みを編集する	77
位置を編集する	77
電話番号を編集する	77
メモリ地点を削除する	77
地図を確認してメモリ地点を削除する	78
メモリ地点修正画面から削除する	78

オーディオ・ビジュアル

AVの基本操作	79
ソースを切り替える	79
ソースをオフ(STANDBY)にする	79
SDメモリーカードのファイルを再生する	80
SDメモリーカードを入れる/出す	80
画面の見かたと操作	80
オーディオファイルのAV画面	80
ビデオファイルのAV画面	81
ピクチャーファイルのAV画面	81
再生リストについて	82
地デジを視聴する(EZ-950のみ)	83
B-CASカードを入れる/出す(EZ-950のみ)	83
B-CASカードを差し込む	83
画面の見かたと操作	83
放送局を登録(プリセット)する	84
番組表を見る	84
地デジ設定を切り替える	84
ワンセグを視聴する(EZ-750・550)	85
画面の見かたと操作	85
放送局を登録(プリセット)する	86
番組表を見る	86
ワンセグ設定を切り替える	86

情報・設定

各種情報・設定について	87
ナビゲーションの設定をする	88
地図表示を設定する	90
自車の現在位置を修正する	90
走行軌跡表示を設定する	91
走行軌跡を消去する	91
車両情報を設定する	91
システムの設定をする	92
画面の明るさの設定をする	92
音量の設定をする	93
走行モードの設定をする	93
システムを初期化する	93
情報を確認する	94
GPSの情報を確認する	94
センサーの学習について	94
バージョン情報を確認する	94

オプション

別売品について	95
リアビューカメラを使う	95
カメラを設定する	95
リアビューカメラ接続設定	95
リアビューカメラの映像を表示する	96
現在地図画面でリアビューカメラ映像を表示する	96
各AV画面でリアビューカメラ映像を表示する	96
リアカメラガイド線の設定をする	97

付録

自転車位置の測位精度について	98
地図記号の凡例	100
地図データベースについて	102
ソフトウェア使用許諾契約書	104
故障かなと思ったら	106
主な仕様	111
特許権/著作権/商標など	112
索引	116
保証とアフターサービス	119

本機のサポート情報を役立てよう！

本機の最新情報はこちら

ファームウェアのバージョンアップ情報など
本機の最新情報を掲載しています。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/>



FAQ（よくあるご質問）

当社のホームページでは、本機についてのお問
い合わせの内容を掲載しています。

本書の「故障かなと思ったら」と合わせてこ
ちらもご覧ください。




<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/faq/>






安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。



 危険	人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。


	注意(しなければならない)の内容です。
	禁止(してはいけない)の内容です。
	実行(必ず行っていただく)の内容です。

内蔵電池について（本機は時刻保持用に充電式電池を内蔵しています）

危険







	<p>本機（内蔵電池）の取り扱いに注意する</p> <p>本機は充電式電池を内蔵しています。次のことを必ず守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 分解・改造しない ● 加熱したり、火の中に入れてたりしない ● ダッシュボードなど直射日光の強いところや炎天下の車内などの異常に高温となる場所に放置しない <p>内蔵電池が発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。</p>
	<p>内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する</p> <p>本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 内蔵電池を過熱したり、分解・改造したり、火や水の中に入れない ● 内蔵電池を火のそばや炎天下などに置かない ● 内蔵電池のコネクターに絶縁テープをはる <p>発熱、破裂、発火、液もれをし、火災やけがの原因となります。</p>

警告



	<p>内蔵電池を廃棄するときの取り扱いに注意する</p> <p>本機の内蔵電池を廃棄するときは、次のことを必ず守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 内蔵電池は、幼児の手の届く場所に置かない ● 内蔵電池の液がもれて目にはいったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受ける <p>けがや事故の原因となります。</p>
---	--

取り付けや配線について



警告

	<p>本機は DC12V/24V ⊖ アース車以外で使用しない 火災や故障の原因になります。DC12V/24V ⊖ アース車以外で使用しないでください。 エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。 視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない 交通事故やけがの原因となります。 フィルムアンテナは保安基準の取付許容範囲外に貼り付けない 視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。</p>
	<p>取り付け・配線についてお客様での取り付け作業が困難な場合は、安全のため専門技術者に依頼する 取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をする と車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。 説明書に従って取り付け・配線をする 火災や故障の原因となります。作業は手順とおりに正しく行ってください。</p>
	<p>濡れた手でシガープラグを抜き差ししない 感電の原因となります。</p>
	<p>必ず付属の部品や指定の部品を使用する 機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。 コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと交通事故の原因となります。 車体やねじ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する 断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。 コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する 被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。 取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する 車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど)が正常に動作しない状態で 使用すると、火災や交通事故の原因となります。</p>
	<p>ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く 誤って、飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談 してください。</p>
	<p>本機に付属のシガープラグコードを使用する 付属以外のシガープラグコードを使用すると、火災、感電の原因となります。 シガープラグは、確実に差し込む 確実に差し込めない場合、接触不良により火災、感電の原因となります。 シガープラグを抜くときは、プラグを持って抜く コードが破損し火災、感電の原因となります。 使用後または長時間使用しないときは、シガープラグを抜く 車種によってエンジン切ってもシガープラグ電源が切れない場合があります。火災やバッ テリー上がりの原因となります。 シガープラグ電源は定期的に清掃する ほこりが付着していると火災の原因となります。 車載用吸盤スタンドが濡れたり、水が入ったりしないように注意する ダッシュボードから落下し、交通事故やけがの原因となります。</p>






⚠ 注意

	<p>必ず、付属品や指定の部品を使用する 機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。</p> <p>車載用吸盤スタンド及びナビゲーション本体は確実に取り付ける 走行中に外れる・落下するなど、交通事故やけがの原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設置面の汚れ・ワックスなどは必ず拭き取ってください。 ● スタンドを確実に取り付けるために付属の取付用シートをご使用ください。 ● スタンドの落下を防ぐために付属のスタンド用ストラップをご使用ください。 ● 車載時は、必ずナビゲーション本体をスタンドに固定してご使用ください。また、しっかりと取り付けられていることを確認してください。 <p>取付用シートをダッシュボードからはがす場合は、ゆっくりと、慎重にはがす 強力な粘着テープを使用しているため、無理にはがすと貼付面を傷める可能性があります。</p> <p>板金やエッジ、樹脂バリ及び可動部に干渉しないように配線する 断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。</p>
	<p>直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない 機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。</p> <p>水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない 水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。</p> <p>機器の通風口や放熱板をふさがない 機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。</p>


⚠ 注意

	<p>コードの扱いに注意する コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。</p>
	<p>振動や傾きのある不安定な場所には、取り付けない 走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。</p> <p>取付用シートを貼り付ける場所の表面が柔らかい材質・本皮・木製パネル・布張りなどの場合は、貼り付けない 表面仕上げを傷める場合があります。</p>



警告

	<p>分解・修理及び改造はしない 分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。</p>
	<p>音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない 車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。</p> <p>大きな音量で使用しない 周囲の音が聞こえないことによる交通事故の原因となります。</p> <p>周囲の音が聞こえないと危険な場所※でヘッドフォンを使わない 交通事故の原因となります。密閉型(周囲の音が聞こえにくくなるタイプ)は、使用しないでください。</p> <p>※踏切や横断歩道、車道、工事現場など</p> <p>運転者は運転中にヘッドフォンを使わない 運転中は、絶対にヘッドホンを使用しないでください。交通事故の原因となります。</p> <p>ヘッドフォン使用時は音量を上げすぎない 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力が損なわれる原因となります。</p>
	<p>機器内部に、水や異物を入れない 金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。</p> <p>屋外で使用する場合には、雨水・海水などがかかる場所やほこりの多い場所で使用しない 本機は防水・防塵構造ではありません。 火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。</p> <p>故障や異常な状態のままで使用しない 画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。</p> <p>運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない 必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。</p> <p>SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない 誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>
	<p>雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない 落雷による感電の原因となります。</p>
	<p>ルート案内中でも実際の交通規制に従って走行する ナビゲーションのルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制と反することがあり、交通事故の原因となります。</p> <p>ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口に依頼してください。</p>

警告


	<p>医療用電気機器などへの影響を確認する、また病院や航空機内など、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電気機器※の近くでは、電源を切る</p> <p>電気機器や医療用電気機器が誤作動するなどの影響を与えます。病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従ってください。</p> <p>● 心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。</p> <p>※ 心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など</p> <p>自動車で使用する場合は、必ず付属のシガープラグコードをナビゲーション本体に接続し、付属の車載用吸盤スタンドに装着して使用する</p> <p>ナビゲーションの性能を発揮できず、事故やけがの原因となります。</p>
---	--

注意

	<p>本機のナビゲーション機能を自動車以外※では使用しない</p> <p>本機のルート案内は自動車専用のもので、事故やけが、火災、故障の原因となります。</p> <p>※ 船舶・航空機・自転車・バイクなど</p> <p>本機の上に重いものをのせたり、乗ったりしない</p> <p>落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない</p> <p>故障や火災の原因となります。</p> <p>ロッドアンテナに目や顔を近づけない／人に向けない</p> <p>アンテナの先端に接触して、事故やけがの原因となります。</p> <p>アンテナを伸ばして使用するときは、周囲に十分に注意してください。</p>
	<p>走行前に本機の取り付け状態を点検する</p> <p>本機の脱落、落下等により、けがや交通事故の原因となることがあります。</p> <p>落としたり使用を中止する</p> <p>機器を落としたり、強い衝撃が加わったりした場合は、内蔵電池が損傷しているおそれがありますので、使用を中止し、点検・修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。</p>

異常時の問い合わせ

警告

	<p>異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店がサービス窓口にご相談する</p> <p>そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。</p>
---	---

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

安全走行のために

本製品は、目的地までの道のりを、曲がり角ごとに案内をして誘導します。ご使用になる前に必ず、取扱説明書や注意事項などをよく読み、正しく理解して使用してください。

安全上の配慮から、走行中はテレビやビデオの映像を見ることはできません。完全に停止してからお楽しみください。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かなと思ったら」(→ P.106) を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、お買い上げの販売店またはJVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

本機のお手入れについて

操作パネルや本体部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

傷が付いたり文字が消えることがあります。

フィルムアンテナ (別売品) のお手入れ

- フロントウィンドウの内側を清掃する際には、フィルムアンテナを柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布を固くしぼり、軽く拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどはご使用にならないでください。
- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。

モニター画面について

- 画面部をボールペンなどの先のとがったもので操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面部に保護用フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。

- 画面に小さな点が出る場合があります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいことがあります。故障ではありません。

ナビゲーションについて

- 初めてご使用になるとき、または長期間ご使用にならなかったときは、現在地が正しく位置表示されない場合があります。しばらくするとGPSの測位により正しく表示されるようになります。
- 走行中は、安全のため、一部を除く細街路* は表示されません。ただし、市街地図25~200mスケールでは走行中も細街路* が表示されます。

* 細街路とは、幅員5.5m未満の道路のことをいいます。また幅員3.0m未満の細街路は細街路非走行時は市街地図25m~50mの場合のみ表示されます。

本機に記録された個人情報について

本機を譲渡したり、売却したりする場合は、本機に記録された情報(例:登録地点や検索履歴等)を、必ずお客様自身によってデータを消去し、確認してください。個人情報の消去は、システムを初期化する(→ P.93)で行うことができます。

当社では未消去のデータの流出による損害等について、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本機での個人情報を含む検索データの取り扱いについて

当社は、同データに収録された個人情報をその機能の実現のみに使用し、第三者へは開示しません。該当する個人情報の開示、訂正、削除などをご希望のお客様は、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター(裏表紙)までご連絡ください。ご本人の確認及び所定の手続きを経た後、対応が可能となる次回製品より、該当する情報の削除などを行います。

動作の種類と走行中の制限について

制限される主な機能

走行モードの設定（助手席モード・ドライバーモード）や走行／停車判定によって、下記のように機能が制限されます。

動作の種類	車動作	
	助手席モード	ドライバーモードで走行中
各メニュー操作	○	×（一部のメニューのみ操作可能）
地図スクロール	○	×（短くタッチする操作のみ可能）
細街路表示*	○	×（細街路を走行中、市街地図を表示中は表示、または一部細街路以外を走行中でも表示可能）
自律航法(G ジャイロ)	○	○
スクリーンオフ(画面消し)	○	○
リアビューカメラ	○	○:リアビューカメラ
地デジ/ワンセグ視聴	○	×:映像、○:音声
動画再生	○	×:映像、○:音声
画像再生(スライドショー)	○	×

* 細街路とは、幅員5.5m 未満の道路のことをいいます。

走行／停車判定方法について

設定画面の“走行モード”で、“ドライバーモード”を設定していると安全上の配慮から走行中はテレビ／動画などの表示や一部の操作を行うことができません。

- 本機は GPS、ジャイロセンサー、G センサー から車速を検出して走行／停車判定を行っています。
- GPS の判定速度が、5km/h 以上を 1 秒間検出した場合、走行中と判断し、走行規制を行います。走行中から 0km/h を 1 秒間検出した場合、停車中と判断し、走行規制を解除します。

SD/SDHC メモリーカードについて

本機では microSD メモリーカードを使用して下記などができます。

- microSD メモリーカードに保存した音楽ファイル (MP3)、動画ファイル (MP4)、画像ファイル (JPEG) の再生

■ 本機は、SD規格に準拠したmicroSD/SDHCメモリーカード (128MB~2GB/4GB~32GB) に対応しています。

それ以外のSD メモリーカードは使用できません。

■ microSD/SDHCメモリーカードは、FAT16/FAT32でフォーマット(初期化)して使用してください。



- ・ 本書では特にことわりのない限り、上記のメモリーカードを「SDメモリーカード」と総称して表記しています。

取り扱いについての注意

- SD メモリーカードでデータを読み書きしているときに、SD メモリーカードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
- 長時間使用すると、SD メモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SD メモリーカードには寿命があり、長期間使用すると書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- SD メモリーカードが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 次のことをお守りください。
 - 本機から取り出したら、必ずケースに収納する
 - 裏面の端子部を手や金属で触れたり、汚したりしない
 - 貼られているラベルをはがさない
 - シールやラベルを重ねて貼り付けない
 - 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしない



- ・ SDメモリーカードの挿入／取り出しについては37 ページの「SDメモリーカードを挿入する／取り出す」をご覧ください。

メディア及びファイルについて

ご使用上の注意事項

- SDメモリーカードは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因になります。
- 本機で再生するオーディオ/ビデオ/ピクチャーファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ事態で、ファイルが破壊される場合があります。

本機で再生できるSDメモリーカード

規格	microSD/SDHC
最大容量	128MB～2GB(SD) 4GB～32GB(SDHC)
ファイルシステム	FAT16/FAT32

- SDスピードクラスはClass10まで対応しています。

SDメモリーカード使用上のご注意

- ご使用の際には、必ずSDメモリーカードに付属している取扱説明書も合わせてご確認ください。
- 本機で使用できない場合は、ファイルシステムがFAT16かFAT32であることを確認してください。ファイルシステムが異なる場合は、再フォーマットしてから使用してください。
- 本機はSD-Audioには対応していません。
- すべてのSDメモリーカードに対して、動作を保証するものではありません。
- SDメモリーカードの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- SDメモリーカード内のデータは必ずバックアップをしてください。SDメモリーカードの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切致しかねますので、あらかじめご了承ください。

本機で再生できるファイルフォーマット

オーディオファイル	MP3
ビデオファイル	MPEG4
ピクチャーファイル	JPEG

著作権保護されたファイルについて

本機では、コピープロテクトや著作権管理が設定されているオーディオファイルは、再生できません。個人的に楽しむなどの場合を除き、音楽や映像などの著作物を著作権所有者の許諾を得ずに複製(録音)、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

オーディオファイル

	MP3
対応形式	MPEG-1 Audio Layer 3
拡張子	.mp3
量子化ビット数	16bit
ビットレート	48k ~ 320kbps,VBR
サンプリング周波数	32k ~ 48kHz
タグ	ID3 タグ ver 1.0/1.1/2.2/2.3
チャンネル	Mono, Stereo

※ DRM(デジタル著作権管理)付きのオーディオファイルは再生できません。

※ ひとつのMP3 ファイルの中に異なるバージョン(ver 1, ver 2)のID3タグ情報が同時に存在する場合はver 2の情報のみを使用します。

※ タグの文字数は半角32文字まで対応しています。それ以上の文字数では、文字列の後ろ部分が表示されない場合があります。

※ オーディオファイルの作成方法によっては、本機で再生/表示できない場合があります。

ビデオファイル

	MPEG-4 Video
対応形式	ISO MPEG4
拡張子	.mp4
プロファイル	Simple Profile Level3
対応音声コーデック	MP3, AAC
最大ピクチャーサイズ	1920 × 1080
最大フレームレート	30fps
最大ビットレート	4.0Mbps
最大ファイルサイズ	4GB

- ※ DRM(デジタル著作権管理)付きのビデオファイル再生には対応しません。
- ※ ビデオファイルの作成方法によっては、本機で再生/表示できない場合があります。
- ※ ビデオファイルのビットレートが高い場合は、部分的に再生が停止したり、音飛び/音切れをする可能性があります。

ピクチャーファイル

	JPEG
対応形式	Joint Photographic Experts Group
拡張子	.jpg, .jpeg
対応画像サイズ	13M pixels 以下
対応ファイルサイズ	3.5Mbyte 以下

- ※ JPEG 画像は横800 ×縦480 ピクセル以上の場合、縮小して表示します。

(1) ファイル名とフォルダ名

本機で表示できる文字：

半角英数文字、半角カタカナ、全角文字

本機で表示できる最大文字数：

ファイル名

半角32 文字(全角16 文字)(拡張子も含む)

フォルダ名

半角32 文字(全角16 文字)

使用できない文字：

¥\:*?*<>|

ファイルには正しく拡張子を付けてください。

- ※ シフトJIS 以外の文字は正しく表示できない場合があります。

(2) ファイル数とフォルダ数の制限

最大ファイル数:500

最大フォルダ数:500(root を含む)

- フォルダ、ファイルのうち一方が上限値に達した場合は認識できません。

はじめに

取り付け/
記録のしかた

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・
ビジュアル

情報・設定

オプション

付録

B-CAS カードについて (EZ-950のみ)

B-CAS カードは、デジタル放送番組の著作権保護などに利用するカードです。地上デジタル TV 放送を受信するときは、必ず B-CAS カードを本機に差し込んでください。

取り扱いについての注意

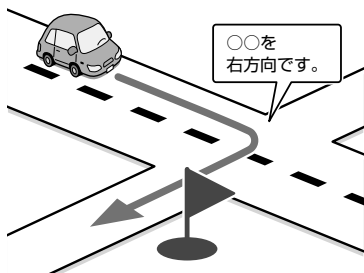
- 使用許諾契約約款をお読みのうえ、使用者ご自身でパッケージを開封し、カードを本機に正しく差し込んでください。
- B-CAS カードの説明書をよくお読みのうえ、お使いください。
- 使用許諾契約約款をお読みのうえ、お使いください。
- B-CAS カードを挿入しないと、デジタル放送を視聴することができません。
(ワンセグ放送は視聴することができます)
- 重いものをのせないでください。
- 水をかけたり、濡れた手で触らないでください。
- IC (集積回路) 部には手を触れないでください。
- 分解、改造はしないでください。
- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 高温になるところにカードを放置しないでください。
- バス・タクシーなど、不特定または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。
- 盗難防止のため、長い期間お車から離れるときは、B-CAS カードを抜き、車内に残さないようにすることをおすすめします。
より詳しい情報は、<https://www.b-cas.co.jp/> をご覧ください。



- ・ B-CASカードの挿入／取り出しについては、37 ページの「B-CASカードを挿入する／取り出す (EZ-950のみ)」をご覧ください。
- ・ ご使用中はB-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

簡単機能ガイド

ナビゲーション機能



目的地設定画面

施設の名称やジャンル、住所など、多彩な検索方法から行き先を探ることができます。
(→ P.50)



音楽や映像を楽しむ

テレビやSDメモリーカードで音楽や映像をお楽しみいただけます。

ソース切替画面 (→ P.79)



● ルート探索・編集

行き先を設定すると、最適なルートが探索されます。優先する道路や距離別のルートを選んだり、経由地を追加することもできます。
(→ P.59)



● ルート案内

行き先までのルートのほか、方面看板や交差点のレーン情報などをイラストや音声でお知らせします。(→ P.62)



地デジ
ミュージック
ビデオ
ピクチャー
STANDBY

情報確認や各種設定の変更

情報・設定画面では、本機のさまざまな設定をお好みにあわせて設定し直すことや各種情報を表示することができます。

■ 情報・設定画面 (→ P.92)



● 画面明るさ

画面表示の明るさ設定を行います。
(→ P.92)

● 音量

案内音量や操作音などの設定を行います。
(→ P.93)

● リアカメラ

リアビューカメラの ON/OFF 設定を行います。
(→ P.95)

● リアカメラガイド線

リアビューカメラガイド線の調整を行います。
(→ P.97)

● 走行モード

ドライバーモードと助手席モードの切替を行います。
(→ P.93)

● GPS

GPS の受信状態を表示します。
(→ P.94)

● バージョン

各ソフトウェアのバージョンなどを表示します。
(→ P.94)

● 初期化

各種設定や個人情報などの初期化を行います。
(→ P.93)

■ ナビメニュー画面



● メモリ地点編集

登録した地点の名称や電話番号などを編集します。(→ P.74)

● ナビ詳細設定

地図に表示する情報や、案内の方法などを設定します。(→ P.88)



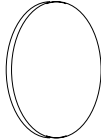
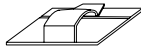
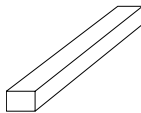

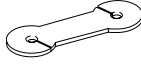
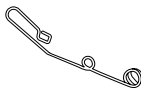

● 案内中止

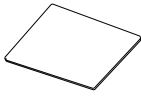


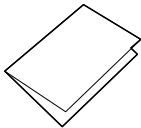
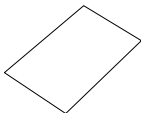
ルート案内を中止します。(→ P.72)

内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

内容物について

番号	品名	数量
①	 ナビゲーション 本体*1	1
②	 吸盤スタンド*2	1
③	 取付用シート*3	1
④	 ケーブル クランパー	3
⑤	 クッション材	1
⑥	 スタンド用 ストラップ (0.5 m)	1
⑦	 コードリール	1
⑧	 フック	1
⑨	 タッピンねじ ($\phi 3 \times 12\text{mm}$)	1

番号	品名	数量	
⑩	 クリーナークロス (取付用シート用)	1	
⑪	 シガープラグ コード (12V/24V 車対応) (1.9 m)	1	
⑫	 mini B-CAS 地上デジタル専用	B-CAS カード (EZ-950 のみ)	1
⑬	 取扱説明書 (本書)	1	
⑭	 保証書	1	

*1… イラストはEZ-750 を例に説明しています。

*2… 吸盤スタンドの吸盤面には、吸盤スタンド保護用シートが貼られています。取り付けの際は吸盤スタンド保護用シートをはがしてご使用ください。

*3… 取付用シート裏面には、ダッシュボードに貼り付けるための粘着テープが貼られています。

はじめに

取り付け/
配線のしかた

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・
ビデオ

情報・設定

オプション

付録

本書の読みかた

この取扱説明書の構成と、表記方法について説明します。

本書の構成

はじめに	安全上のご注意や使用上のご注意など、はじめにお読みいただきたいことが記載されています。(→ P.6)
取り付け/ 配線のしかた	本機の実取り付け方法や配線のしかたを説明しています。(→ P.22)
基本操作	各部の名称や画面の切り替えかたなど、本機の基本的な操作方法を説明しています。(→ P.34)
ナビゲーション	地図の表示や操作、行き先の探しかたやルート案内など、カーナビゲーション(以降、「ナビ」)の操作方法について説明しています。(→ P.43)
オーディオ・ ビジュアル	オーディオ・ビジュアル(以降、「AV」)の操作方法について説明しています。(→ P.79)
情報・設定	本機のシステム設定、ナビの詳細設定などについて説明しています。(→ P.87)
オプション	リアビューカメラなどの別売品を接続したときの操作方法について説明しています。(→ P.95)
付録	関連する資料やトラブルシューティングを掲載しています。(→ P.98)

- 本書の画面や操作例は、操作説明用に作成したものです。仕様変更などにより、本書の内容と実際の画面が異なる場合があります。
- “(EZ-XXX のみ)” などは、機能の対象となる機種を表します。

AVの基本操作

ソースを切り替える

ソース切替画面でソース（音源）を切り替えます。

- 1 メインメニューボタンを押して
[ソース切替] をタッチする



ハードキー名：

本書ではハードキーを次のように表記しています。



→ メインメニューボタン

ボタン名：

本書では、文字のあるボタンを次のように表記しています。



→ [ソース切替]

文字が記載されていないボタンは、本機で表示されるアイコンを掲載しています。

目的地に設定してルートを探る

ここまでの手順 ▶

行き先を探す (→ P.50)

- 1 [目的地確定] をタッチする

ここまでの手順：

下で説明する操作の前に、ここに記載されている操作を行います。

参照ページ：

参照ページのページ番号です。



- 目的地または経由地（追加目的地）として設定した場所が履歴に保存されます。
- 検索履歴は100 か所まで保存されます。100 か所を超えると、古いものから自動的に削除されます。

補足：

手順の補足説明や制限事項などについて説明しています。

本機の取り付け

車に吸盤スタンドを取り付ける

付属の吸盤スタンドを車に取り付けます。

※ お客様での取り付け作業が困難な場合は、お買い上げの販売店(専門業者)にご依頼ください。
(作業工賃が発生した場合は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。)

ナビゲーションの取り付け位置について

国土交通省の定める保安基準*に適合させるため、下図イラストのように、運転者の視界を妨げないように取り付けてください。また、前面ガラス及び側面ガラス(運転者席の左右)への取り付けは、保安基準第29条に不適合となりますので、絶対におやめください。

* 印… 道路運送車両の保安基準 第21条(運転者席)

道路運送車両の保安基準 第44条(後写鏡等)

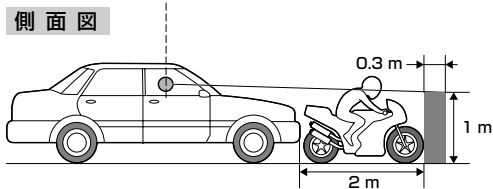
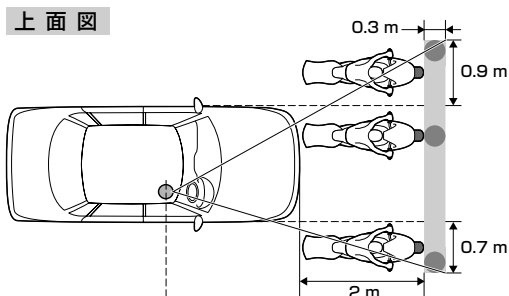
最新の保安基準は、国土交通省のWebサイトをご確認ください。

■ 前方視界について

■ 基準概要

自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱(6歳児を模したもの)を鏡等を用いず直接確認できること。

- 図は右ハンドル車の例です。
左ハンドルの場合は、左右逆になります。



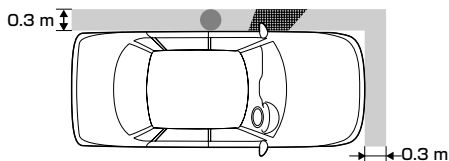
- : 運転視界基準エリア
- : 高さ1m、直径0.3mの円柱

■ 直前直左視界について

■ 基準概要

自動車の前面及び左側面(左ハンドル車にあっては右側面)に接する高さ1m、直径0.3mの円柱(6歳児を模したもの)を直接に又は鏡、画像等により間接に視認できること。

- 図は右ハンドル車の例です。
左ハンドルの場合は、左右逆になります。

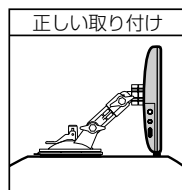


- : 運転視界基準エリア
- : 高さ1m、直径0.3mの円柱
- ▨ : 適用外エリア
(フロントピラーまたは室外後写鏡により視界がさえぎられるエリア)

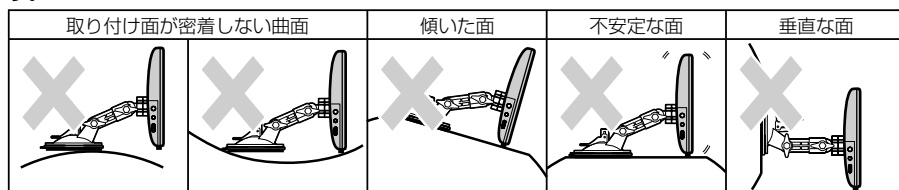
取り付ける前に

- エアバッグが装着されている車両に取り付ける場合は、絶対にエアバッグのカバー部分及び作動時の妨げになる場所には取り付けないでください。
(取り付け位置の安全性を考慮し、お買い上げの販売店(専門業者)にご相談のうえ、取り付け位置を決めてください。)

- 吸盤スタンド及び取付用シートの貼り付け場所はダッシュボード上の凹凸のない平らな面をお選びください。また、吸盤スタンドをダッシュボード上に軽く置いたときに吸盤の外周がダッシュボードと均等に密着し、すき間がないことを確認してください。



- 下記のような場所には絶対に取り付けないでください。吸盤スタンドが外れ落下するおそれがあります。



取り付け上のお願

- 吸盤スタンドを取り付ける前に、取り付ける位置を決め、取り付け場所でナビゲーション本体がGPS衛星電波やワンセグを受信できるかどうか確認してください。
- 必ず指定の吸盤スタンドを使用してください。
- フロントガラスには取り付けないでください。
- 吸盤スタンドや取付用シートなどの貼り付け場所は必ず付属のクリーナークロスできれいに拭き、ほこりや油分などを取り除いて完全に乾燥させてから貼り付けてください。
※ 車によってはクリーナークロスでダッシュボードが変色する場合があります。あらかじめ目立たない部分で試してからご使用ください。変色した場合は、付属のクリーナークロスを使用せず、水に浸した布(毛羽立たない素材など)を固くしぼって拭いてください。
※ ベンジンやシンナー類などは使用しないでください。
- 取付用シートなど粘着テープを使用する付属品は貼りなおさないでください。
- 運転前は、吸盤が確実に吸着していることを確認してください。

説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、当社は責任を負いかねますのでご注意ください。正しく取り扱わなかった場合や、通常の使用目的から逸脱した使いかたをされた場合などは保証の対象外となりますので正しくご使用ください。

取り付け角度について

ナビゲーション本体の取り付けには、下記の角度及び取り付けスペースを参考にしてください。

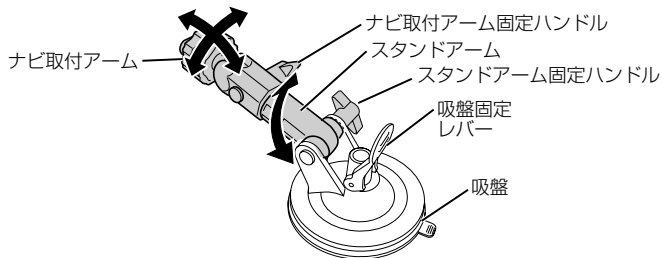


※付属の吸盤スタンドを使用して、ナビゲーション本体をしっかりと固定してください。

※自律航法を動作させるため前後左右の角度は30°以内で調整してください。それ以外の角度で取り付けると自律航法は動作しません。

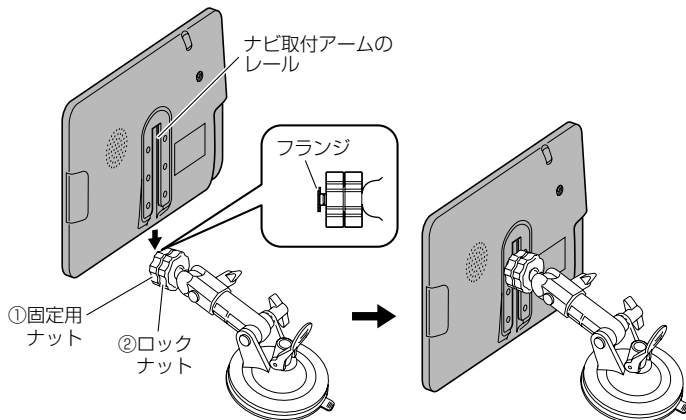
吸盤スタンドの取り付けかた

- 1 固定ハンドルを緩めて、スタンドアームとナビ取付アームの上下位置を調整し、固定ハンドルを締めて固定する。



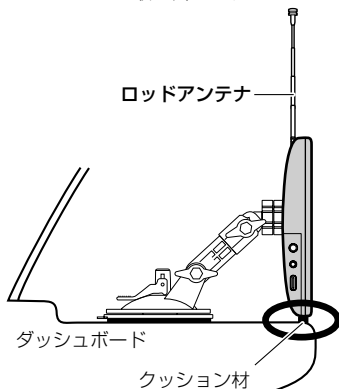
- 2 ナビ取付アームにナビゲーション本体を取り付ける。

- 本機裏面のレールをナビ取付アームのフランジに合わせて、スライドしてください。
- ①固定用ナットを締め、その後②ロックナットを締めて固定してください。



3 ダッシュボード上の見やすいところに取り付ける位置を決める。

- ・取り付け位置が決まったら、ナビ取付アームからいったんナビゲーション本体を取り外してください。取り外しかたについては、(➡ P.28)をご覧ください。



振動によるぐらつきやダッシュボードへの傷などを防ぐため、本機の底面に付属のクッション材を必ず貼り付けて、クッション材がダッシュボードに当たるように調整してください。クッション材を高くしたいときは、クッション材をカットし、重ねてください。
※ダッシュボードに強く当てすぎると吸盤が外れる場合があります。



- ・ロッドアンテナをまっすぐ上に伸ばしてフロントガラスに当たらないことを確認してください。

4 取付用シートを貼り付ける。

※ ダッシュボードの材質や表面状態によっては、吸盤の吸着力が十分得られないことがありますので、必ず付属の取付用シートを使用してください。

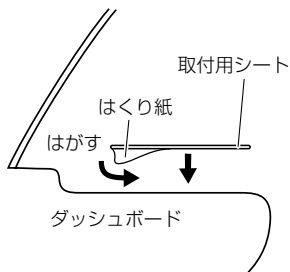
■ 取付用シートを貼り付ける前に必ずお読みください。

- ・取付用シートの貼り付け場所を付属のクリーナークロスできれいに拭いてください。
- ・貼り付けは1回のみです。貼りなおしができないので慎重に取り付け場所を決めてください。
- ・空気が入らないよう端から貼って、強く押し付けてください。
- ・気温が低い(20℃以下)場合は粘着力が低下します。車内ヒーターで車内を暖めてから貼り付けてください。
- ・貼り付け直後は粘着力が弱いため、必ず24時間以上、取付用シートのみ状態で放置してください。

① 取り付け位置を付属のクリーナークロスできれいに拭き取り、完全に乾燥させる。

② 取付用シート裏面のはくり紙をはがし、吸盤スタンドの取り付け位置に貼り付ける。

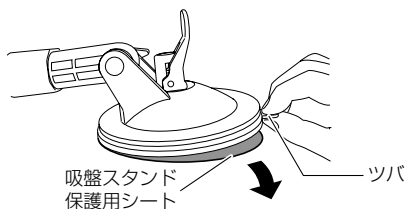
※ 取付用シートが浮かないよう粘着面全体を上からしっかりと押さえ、取付用シートの周囲にすき間がないように貼り付けてください。粘着面全体が貼り付けされていない場合は、振動などで脱落するおそれがあります。



5 取付用シートに吸盤スタンドを取り付ける。

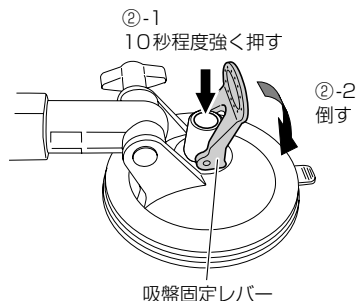
① 吸盤面に付いている吸盤スタンド保護用シートをはがす。

※ 吸盤後方のツバ部分を持ち、ゆっくりと吸盤スタンド保護用シートをはがしてください。



② 吸盤を取付用シートに10秒程度強く押し付けながら、吸盤固定レバーを倒し吸着させる。

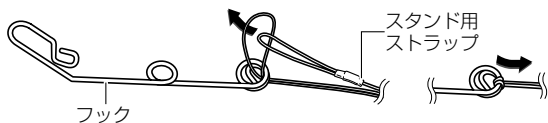
※ しっかりと吸着できているか、吸着スタンドに力を加えて確認してください。



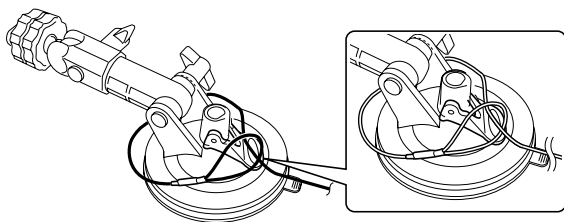
- 吸着力を強くするため、10秒程度押し続けてください。
- 取付用シートから吸盤面がはみ出さないようにしてください。
- 吸盤面が汚れると吸着力が低下しますので、定期的な清掃をおすすめします。毛羽立たない柔らかい布かスポンジに少量の水をふくませ、吸盤面の汚れを取り除くように拭き、完全に乾燥させてからご使用ください。
- ※ 水以外では拭かないでください。

6 フック及びスタンド用ストラップを取り付ける。

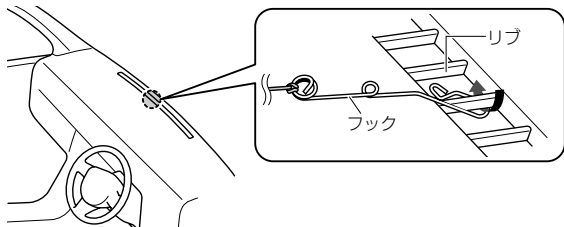
① フックにスタンド用ストラップを通し、結んで取り付ける。



② 吸盤スタンドにスタンド用ストラップを通し、結んで取り付ける。

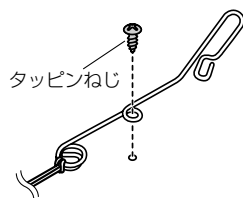


③ フックを車のデフロスタ（フロントガラス下の送風口）のリブ部へ取り付ける。



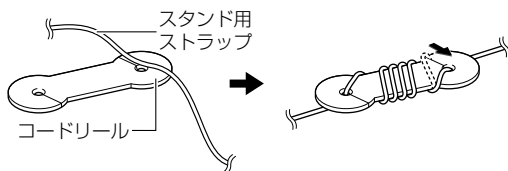
デフロスタへ取り付けできない場合は、付属のタッピンねじでフックを固定してください。

※ ダッシュボードに穴があくことをご了承ください。



- ・ タッピンねじを取り付けるときに、ダッシュボードが割れたり、ダッシュボード内の配線などに干渉する可能性がありますので、お買い上げの販売店(専門業者)にご相談ください。

- ④ スタンド用ストラップをコードリールに巻きつけ、スタンド用ストラップが緩まないように長さを調整する。

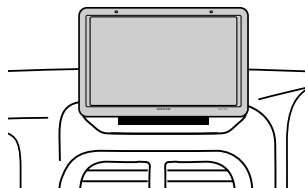


7 ナビゲーション本体を取り付ける。

※ ナビゲーション本体をナビ取付アームに取り付けてください。(→ P.24)

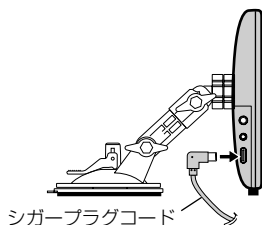
※ 吸盤スタンドのアーム固定ハンドルはしっかり固定してください。固定が弱いと、車の振動などでハンドルが緩み、ナビゲーション本体の取り付け角度が変わるおそれがあります。

- ・ 吸盤スタンド各部の緩み、吸盤が外れそうになっていないかなど、運転前に必ず点検してください。



シガープラグコードを接続する

- 1 付属のシガープラグコードを本体のUSB-C端子とシガープラグソケットに差し込んでください。(→ P.36)

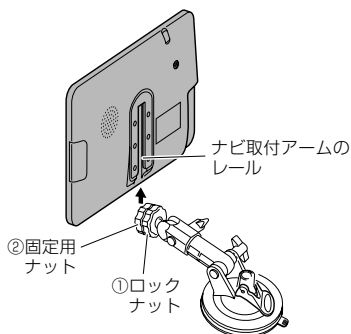


吸盤スタンドの取り外しかた

■ ナビゲーション本体をナビ取付アームから外す場合

- 1 ナビ取付アームの①ロックナットを緩め、その後②固定用ナットを緩めて、ナビゲーション本体を上向きにスライドさせる。

・液晶ディスプレイを持って、ナビゲーション本体を取り付けたり、取り外したりしないでください。

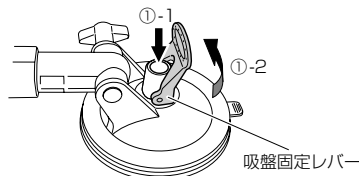


■ 吸盤スタンドをダッシュボードから外す場合

※ 吸盤スタンドを外す前に、吸盤スタンド後方に取り付けているスタンド用ストラップを外してください。

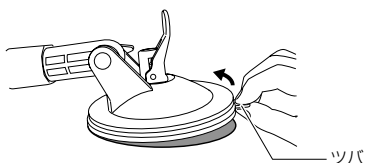
- 1 吸盤スタンドを押したまま吸盤固定レバーを持ち上げる。

・吸盤固定レバーを持ち上げるときに、指をはさまないようにご注意ください。



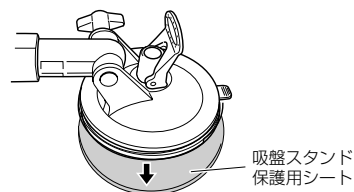
- 2 吸盤後方のツバ部分を持って吸盤スタンドを持ち上げゆっくりとはがす。

※ 吸盤スタンドを取り外すときに、使用環境により吸着力が強くなる場合がありますので、吸盤スタンドのツバをゆっくり持ち上げて取り外してください。



- 3 吸盤スタンドを取り外した後、吸盤スタンド保護用シートに貼り付ける。

※ 取り外した後は吸盤面の汚れを取り除き、付属の吸盤スタンド保護用シートを取り付けて保管してください。

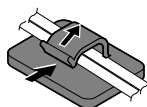


■ ケーブルクランパーの取り付け／取り外しかた

コードを束ねるときに付属のケーブルクランパーを使用して束ねてください。

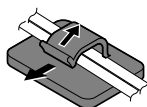
■ 取り付ける場合

- 1 ケーブルクランパーのツメを起こしながらコードをケーブルクランパーに入れる。



■ 取り外す場合

- 1 ケーブルクランパーのツメを起こしながらコードをケーブルクランパーから外す。



テレビ用フィルムアンテナ（別売品）

テレビ用フィルムアンテナ（別売品）について

フィルムアンテナは、EZ-950 のみ(L)と(R)を接続することができます。またEZ-550/EZ-750は、(L)の1本のみ接続することができます。左ハンドル車の場合は(R)を接続します。

車にテレビ用フィルムアンテナ（別売品）を取り付ける

別売のフィルムアンテナを車に取り付けます。

※ 取り付け作業は、お買い上げの販売店(専門業者)にご依頼ください。

(作業工賃が発生した場合は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。)

フィルムアンテナの取り付け位置について

性能を十分発揮するために、必ず車室内の指定の位置に、正しい向きで貼り付けてください。

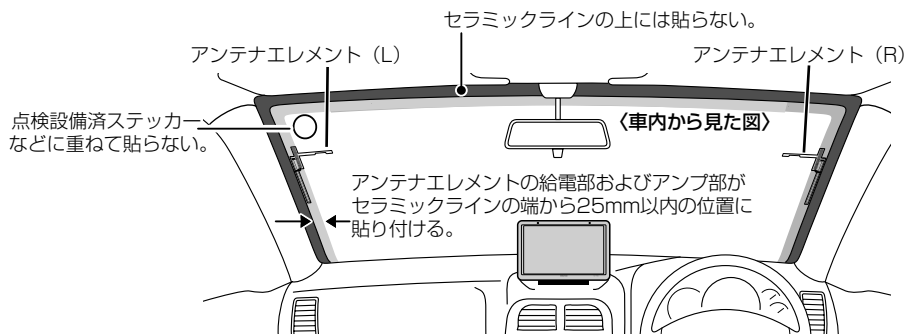
※ 指定の位置や寸法内に取り付けられない場合は、お買い上げの販売店(専門業者)にご相談ください。

※ 車載カメラ装置や電波を通さない熱反射ガラスなどが装備されている場合は、取り付けできません。

国土交通省の定める保安基準※に適合させるため、アンテナエレメントの給電部は、取付許容範囲内(部)に貼り付けてください。

※ 印…道路運送車両の保安基準 第29 条(窓ガラス)

最新の保安基準は、国土交通省の Web サイトをご確認ください。



取り付け上のお願

貼り付ける前に、付属のクリーナークロスで設置面(ガラス、ピラー)の汚れ(ごみ、油)などをきれいに拭き取り、はがれないようしっかり貼り付けてください。

※ 界面活性剤入りのクリーナークロスは使用しないでください。

※ 設置面が完全に乾くまで、作業しないでください。

※ 気温が低いとき(20℃以下)は、車内ヒーターやデフロスタでガラスを温めてください。

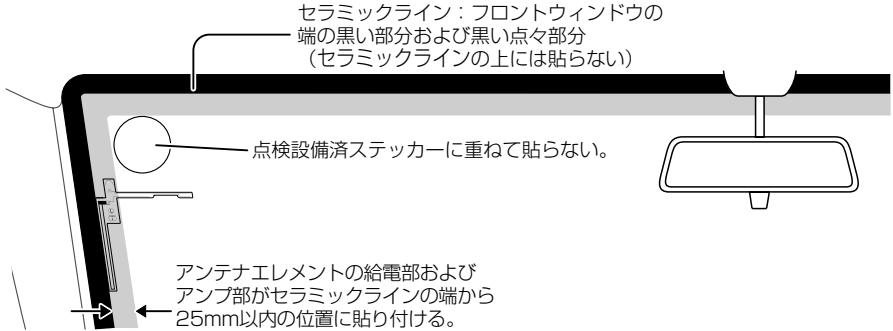
取り付ける前に

- サイドガラスやリアガラスには貼らないでください。十分な受信状態が得られません。
- フィルムアンテナを折り曲げないよう、お取り扱いにご注意ください。
- 仮止めして、貼り付ける位置や向きをご確認ください。(貼りなおせません)
- 他のアンテナがある場合は、電波干渉を防ぐため、100 mm 以上離して貼り付けてください。

フィルムアンテナ (L) の取り付けかた

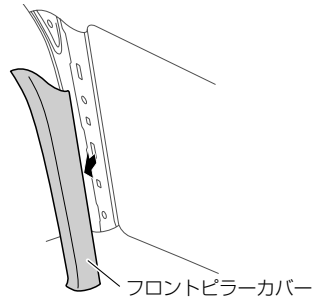
1 フロントガラスにアンテナエレメントを貼り付ける位置を決める。

- ※ アンテナエレメントの給電部およびアンブ部がフロントガラス周縁のセラミックラインの端から25mm以内の位置になるように貼り付けてください。
- ※ 貼り付ける位置からコードを引き回して、ナビゲーション本体へアンテナコード (3 m) が届くかを確認してください。

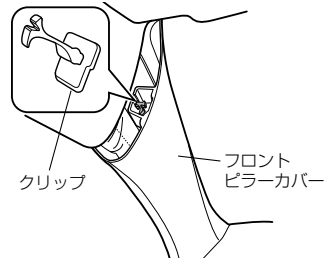
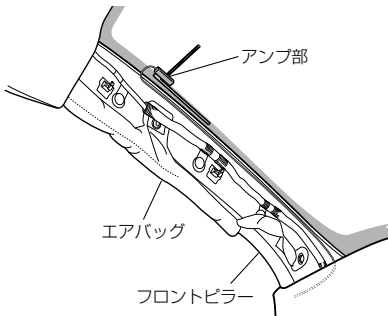


2 フロントピラーカバーを取り外す。

- ※ フロントピラーカバーの取り外しかたは、車種によって異なります。詳しくは、車両メーカー・カーディーラーにご相談ください。
- ※ アンテナコードをエアバッグが装着されているフロントピラー内を通す場合、次の点に注意してください。



- アンテナとエアバッグが干渉しないようにするため、アンテナコードがエアバッグよりも前方または上方になるように取り付けてください。
- フロントピラーカバーが特殊クリップ等で固定され、フロントピラーカバーを外すとクリップの交換が必要となる場合があります。フロントピラーカバーの外しかたや交換部品の有無など、詳しくは車両販売店にお問い合わせください。

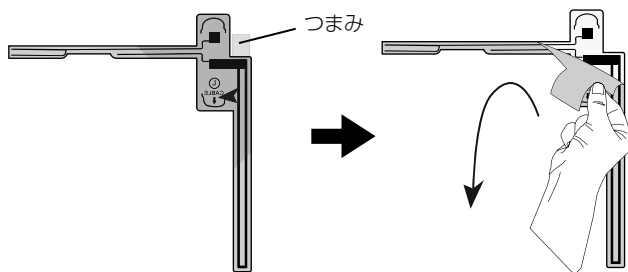


3 アンテナエレメントを貼り付ける場所の汚れをクリーナークロスできれいに拭き取る。

4 アンテナエレメント背面テープの余白部分を持って、セパレーターをはがして、あらかじめ決めた位置に貼り付ける。

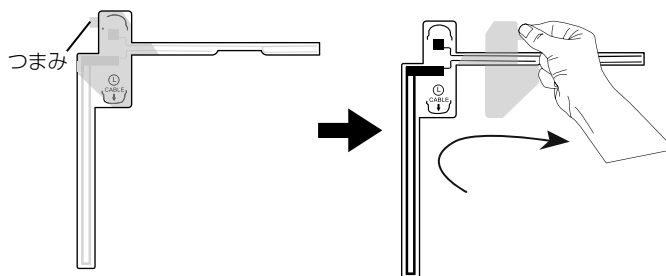
※ 糊面に触れないでください。

※ 強く曲げる、急にはがす、引っ張るなどしないでください。断線する場合があります。



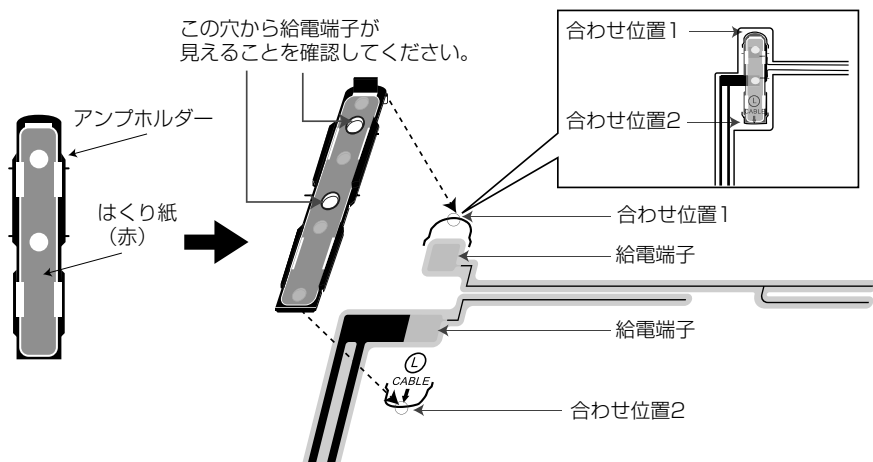
5 アンテナエレメント全体をなぞるようにして、ガラス面に密着させる。

6 アンテナエレメント正面のラベルを持って、セパレーターをはがす。

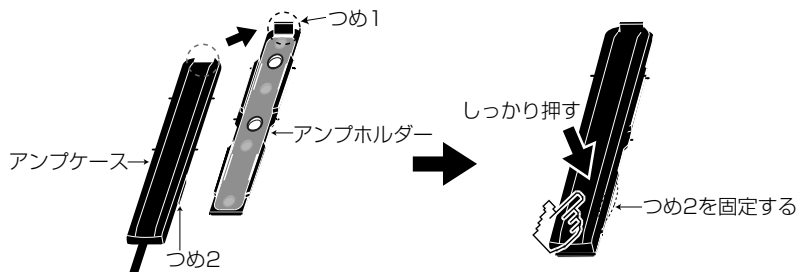


7 アンプホルダー裏面のはくり紙をはがして、アンプホルダーをアンテナエレメントの給電端子部に貼り付ける。

※ アンプホルダーとアンテナエレメントの「合わせ位置1」、「合わせ位置2」が合うように取り付けます。

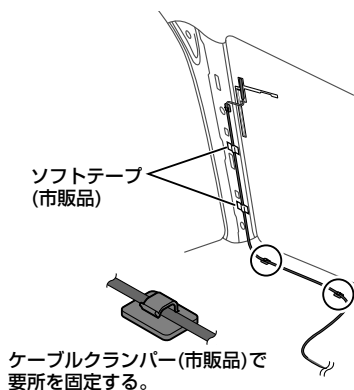


- 8 アンプホルダーのつまみ1にアンプケースの先端をひっかけて、それを支点にしてつまみ2を「カチッ」と音が出るまでアンプケースを押してしっかり固定する。



- 9 アンテナコードを配線する。必要に応じてアンテナコードをソフトテープやケーブルクランパーで固定して配線する。

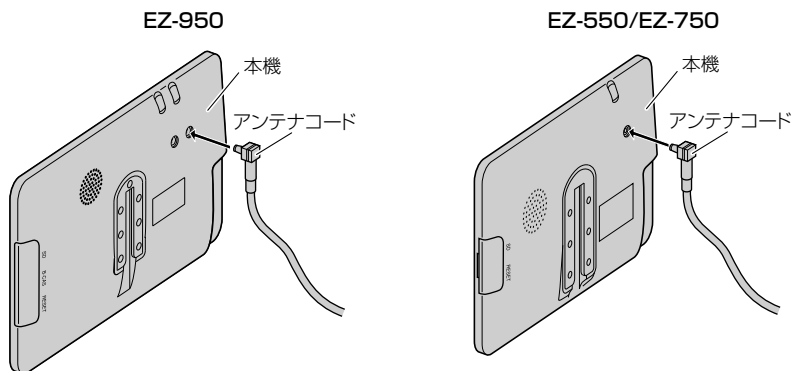
- ※ アンテナコードは引っ張らないでください。アンプホルダーに負荷がかかり、外れる原因となることがあります。
- ※ シガープラグコードなど、他のコードからできるだけ離してください。また、束ねたり交差させたりロッドアンテナに巻きつけたりしないでください。受信感度が低下する場合があります。



- 10 フロントピラーカバーを元通りに取り付ける。

- ※ フロントピラーカバーが給電端子と干渉しないように注意してください。
- ※ アンテナコードをピラーカバーやコンソールなどにはさみ込まないように注意してください。ショートを起こし、放送が受信できなくなります。

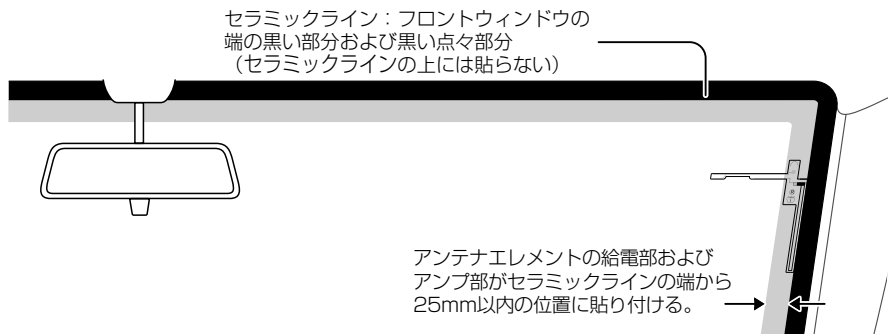
- 11 アンテナコードを本機のテレビ用フィルムアンテナ端子へ接続する。



フィルムアンテナ (R) の取り付けかた

1 フロントガラスにアンテナエレメントを貼り付ける位置を決める。

- ※ アンテナエレメントの給電部およびアンブ部がフロントガラス周縁のセラミックラインの端から 25mm 以内の位置になるように貼り付けてください。
- ※ 貼り付ける位置からコードを引き回して、ナビゲーション本体へアンテナコード (3 m) が届くかを確認してください。

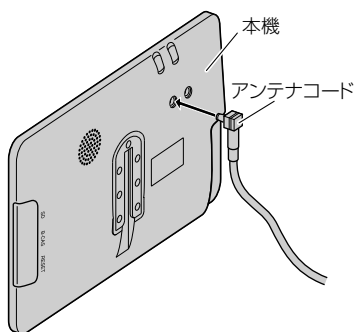


2 フィルムアンテナ (R) を取り付け、配線する。

- ※ フィルムアンテナ (L) の取り付けかたの手順 2 から 10 を参考にして、フィルムアンテナ (R) を取り付け、配線してください。(→ P.30 ~ P.32)

3 アンテナコードを本機のテレビ用フィルムアンテナ端子へ接続する。

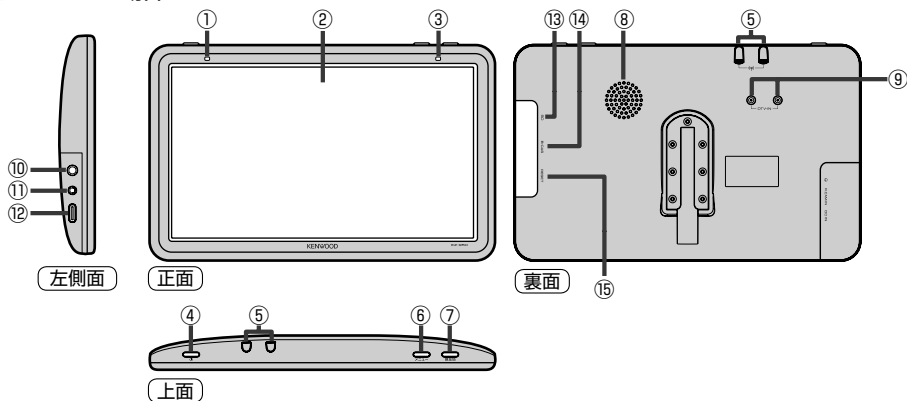
EZ-950



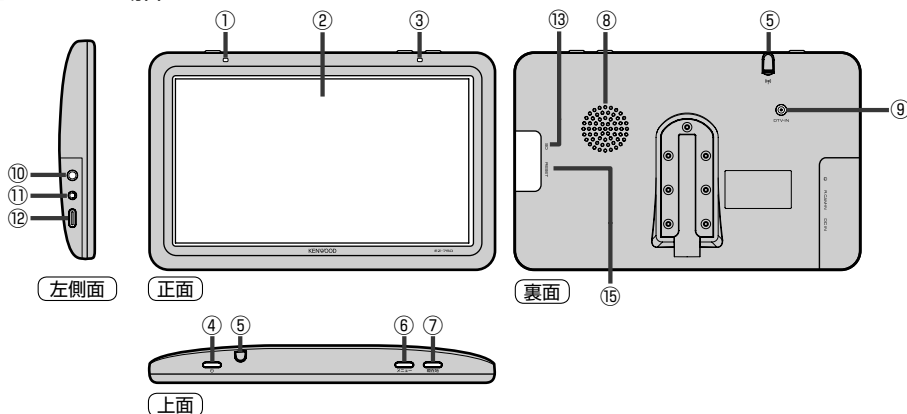
基本操作

各部の名称とはたらき

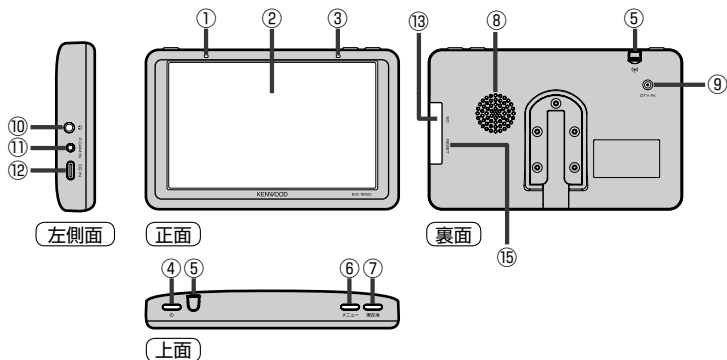
■ EZ-950 の場合



■ EZ-750 の場合



■ EZ-550 の場合

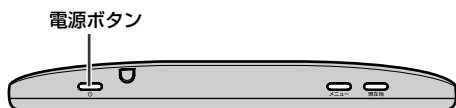


- ① 通電ランプ
通電中をランプの色でお知らせします。
- ② タッチパネル部(液晶ディスプレイ)
- ③ 明るさセンサー受光部
- ④ 電源ボタン
約2秒押すと本機の電源を入れる/切ることができます。
- ⑤ ワンセグ(EZ-550/EZ-750)用ロッドアンテナ
地デジ(EZ-950)用ロッドアンテナ×2
テレビを見るときに伸ばして使用します。
- ⑥ メインメニューボタン
短押しすると、メインメニュー画面を表示します。約2秒以上押すとスクリーンオフ(画面消し)します。
- ⑦ 現在地ボタン
現在地図画面を表示します。
- ⑧ スピーカー
- ⑨ テレビ用フィルムアンテナ接続端子
別売品に同梱されているテレビ用フィルムアンテナコードを接続することができます。
- ⑩ ヘッドフォン端子
市販のヘッドフォンを接続することができます。
- ⑪ リアビューカメラ接続端子
別売品のリアビューカメラ接続ケーブルを接続することができます。
- ⑫ DC入力5V端子(USB-C端子)
付属のシガープラグコードを接続します。
- ⑬ SDメモリーカード挿入口
市販のSDメモリーカードを挿入します。(→ P.37)
- ⑭ B-CASカード挿入口(EZ-950)
付属のB-CASカードを挿入します。(→ P.37)
- ⑮ リセットボタン
本機をリセットすることができます。

電源について

電源ボタンについて

電源ボタンを約2秒押すことによって本機をON/OFFすることができます。

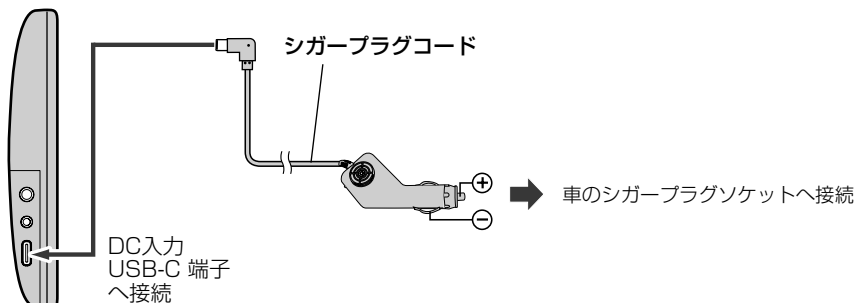


上面

シガープラグコードで使用する

1 シガープラグコードを本機に接続する

※ プラグは DC 入力 USB-C 端子の奥までしっかり差し込んでください。



- シガープラグコードは、車に装備されているシガープラグソケットへ確実に差し込んでください。市販の増設用シガープラグソケットなどに差し込むと、外れたり正常に動作しない場合があります。
- シガープラグコードが外れそうになっていないかなど定期的を確認してください。緩みがあると接触不良で正常に動作しない場合があります。
- エンジンを切ってもシガープラグの電源が切れない車の場合は、エンジンを切った後に、必ずシガープラグソケットからシガープラグコードを外してください。長時間放置するとバッテリーが上がるおそれがあります。
- シガープラグコードを使用しないときは、シガープラグソケットから外してください。本機が接続されていない状態でも、シガープラグソケットに接続したままにしておくと車のバッテリーが消費されます。

2 電源が入る

- 通電ランプがついていれば自動で電源が入ります。

3 警告画面の注意事項を確認する

- 現在の地図画面もしくはAV画面が表示されます。
- ※ 各 AV モードの再生画面が表示された場合は、現在地ボタンを押すと、現在の地図画面が表示されます。

本機の電源を切る

電源ボタンを約2秒押す

- “ピッ”という音が鳴り、本機の電源が切れます。



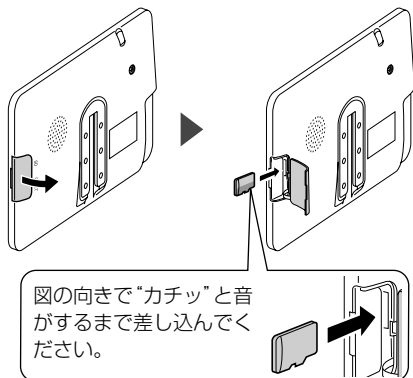
- 車のエンジンを切るなどしてシガープラグコードからの通電がなくなると、自動的に本機の電源が切れ、再び通電が始まると本機の電源が入ります。
- 本機の電源を切ったすぐに電源ボタンを約2秒押しても電源は入りません。少し待ってから電源を入れてください。

SDメモリーカードを挿入する／取り出す

SDメモリーカードの抜き差しは、必ず電源を切った状態で行ってください。

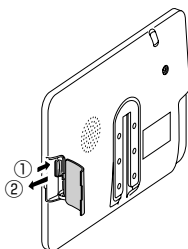
SDメモリーカードを挿入する

- 1 SDメモリーカード挿入口カバーを開け、SDメモリーカード挿入口にSDメモリーカードを挿入する



SDメモリーカードを取り出す

- 1 SDメモリーカード挿入口カバーを開け、SDメモリーカードを①1回押ししてから②取り出す

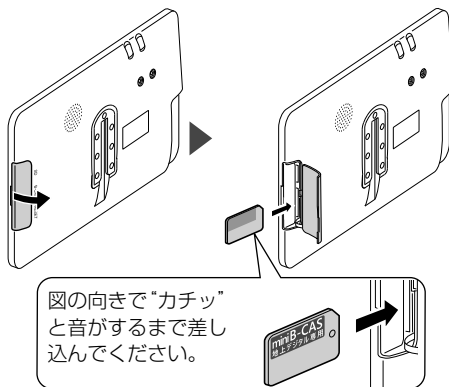


B-CASカードを挿入する／取り出す (EZ-950のみ)

B-CASカードの抜き差しは、必ず電源を切った状態で行ってください。

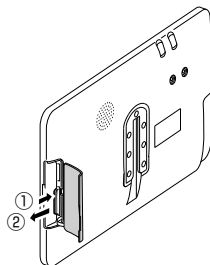
B-CASカードを挿入する

- 1 B-CASカード挿入口カバーを開け、B-CASカード挿入口にB-CASカードを挿入する



B-CASカードを取り出す

- 1 B-CASカード挿入口カバーを開け、B-CASカードを①1回押ししてから②取り出す



タッチパネルの基本操作

■ タッチする

指先で画面を押します。



■ ドラッグする

指先で画面を押さえながら動かします。



■ フリックする

指先で画面を押さえながらすばやくはらいます。



■ ピンチアウト/ピンチインする

2本の指でタッチしたまま指を開きます/閉じます。

● ピンチアウト



● ピンチイン



本機の画面 / リストの操作

■ 前の画面に戻る

🏠 をタッチすると、1つ前の画面に戻ります。



■ 項目が無効のとき

選択できない項目は、タッチしても操作することはできません。



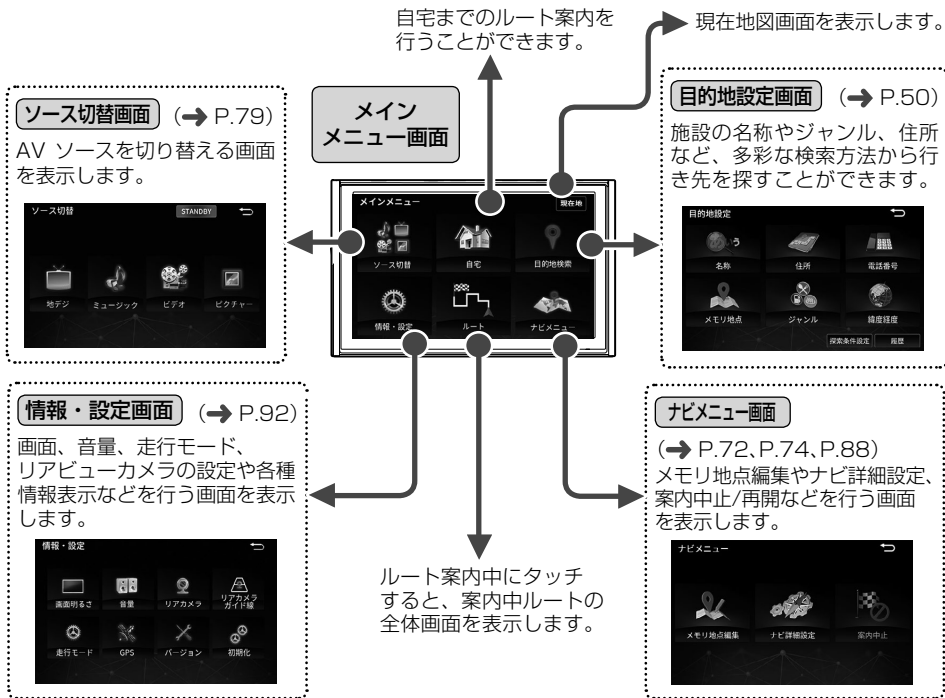
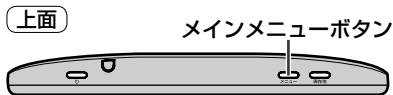
■ リストの操作

リストでは、上下にスクロールして見たい項目を表示します。

- スクロールしたい方向にリストをドラッグまたはフリックする
 - ドラッグまたはフリックした方向にリストがスクロールします。
 - フリックしたときは、スクロール中のリストにタッチすると、スクロールを止めることができます。

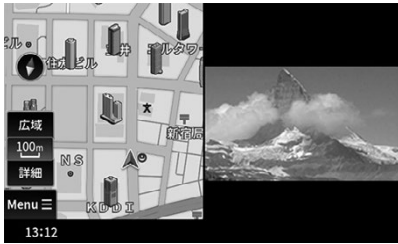
メインメニュー画面での操作

メインメニュー画面は、本機を使うためのスタート地点です。ここからさまざまな機能にアクセスします。メインメニュー画面は、本機上面にあるメインメニューボタンを押すと表示できます。



地図画面表示の切替

ナビゲーションの画面や地デジ、ビデオ、ピクチャーの画面を左右に分割して、同時に表示することができます。



地図を2画面表示にする

現在地図画面から、2画面表示へ切り替えます。

1 現在地図画面で[Menu]をタッチする



2 [表示切替]をタッチする



3 画面の表示方法にタッチする



- [地図1画面]
ナビゲーションをフル画面で表示することができます。
- [地図2画面]
左右の地図はそれぞれ独立して「縮尺」「ノースアップ/ヘディングアップ/3Dヘディングアップ」及び「周辺施設表示」を設定することができます。
- [地図&AV画面]
ナビゲーションの画面と地デジ、ビデオ、ピクチャーの画面を左右に分割して表示することができます。
- 走行モードを「ドライバーモード」に設定している場合、走行中に地デジ、ビデオの映像、ピクチャーは表示されません。

4 [決定]をタッチする



- [地図&AV画面]表示中にいずれかの画面をタッチすると、タッチした画面を1画面で表示します。

高速略図/ターンリスト表示の切替

1 画面表示切替画面(40 ページの手順3)で表示したい[高速略図]または[ターンリスト]をタッチする



- [高速略図]
高速道路走行中に高速略図(ハイウェイモード)の表示/非表示を切り替えることができます。(→ P.63)
- [ターンリスト]
ルート案内中のみターンリストの表示/非表示を切り替えることができます。(→ P.62)

周辺施設を表示する

現在地周辺またはスクロール地点周辺の施設を、地図上にアイコン表示することができます。

1 画面表示切替画面(40 ページの 手順3)で[周辺施設表示]をタッチする



2 表示したいジャンルをタッチする



- 周辺施設表示画面に表示するジャンルは「表示設定変更」をタッチして設定することができます。
- 「選択解除」をタッチすると、選択したジャンルをすべて解除します。
- 「右画面に表示」のチェックボックスにタッチすると、「地図2画面」時の右画面にも選択した施設アイコンを表示することができます。

3 [決定]をタッチする



- 施設アイコンは800m以下のスケールで最大200件まで表示されます

文字入力のしかた

各機能の文字入力時にキーボード形式とテンキー形式の入力画面を表示します。

■ 各機能の入力画面形式

形式	機能
キーボード	<ul style="list-style-type: none"> • 名称検索 • 自宅/メモリ地点登録・修正 - 名称
テンキー	<ul style="list-style-type: none"> • 電話番号検索 • 緯度経度検索 • 自宅/メモリ地点登録・修正 - 名称 - 名称読み(カタカナのみ) - 電話番号

キーボード形式で文字を入力する




画面のキーボードを使って文字を入力します。

1 文字を選んでタッチする



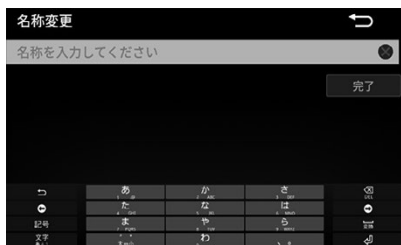
- [小文字]:
小文字に切り替わります。



-  (削除)にタッチすると、一文字を消すことができます。
-  (削除)にタッチし続けると、文字をすべて消すことができます。
-  にタッチすると、文字をすべて消すことができます。

テンキー形式で文字を入力する

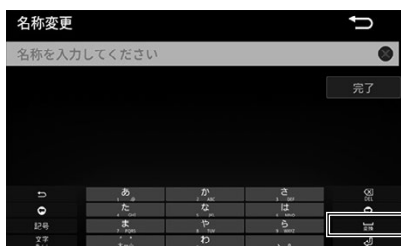
1 文字を選んでタッチする



■ トグル入力

- 例: [い]を入力する場合
[あ] を素早く2回タッチします。
- 例: [あい]を入力する場合
[あ] をタッチし、[い] をタッチします。
その後、[あ] を2回タッチします。
- :
入力した文字を確定します。

2 変換する場合は、[変換]をタッチする



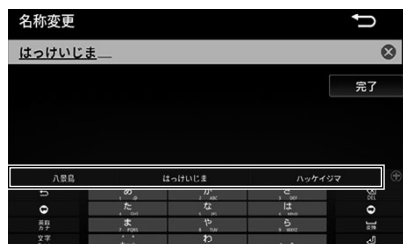
- [記号]:
記号に切り替わります。
- [文字]:
タッチするたびに、かな(ひらがな)/英数字に切り替わります。
 - [文字]をタッチし続けると、下記ポップアップが表示され、ひらがな/カタカナ/数字から選択することができます。



- [文字]をタッチし続け、ポップアップ表示で にタッチすると、QWERTY配列形式のキーボードに切り替えることができます。



3 変換候補リストから単語を選んでタッチする



- :
変換リストを表示します。

4 [完了]をタッチする



- または にタッチして消去したい文字の右側にカーソルを移動して (DEL) にタッチすると一文字を消すことができます。 (DEL) にタッチし続けるとカーソル左側の文字をすべて消すことができます
- にタッチすると、文字をすべて消すことができます。

地図の見かたと操作

現在地図画面の見かた

現在地図画面以外を表示しているときに、本機上面にある現在地ボタンを押すと、現在地周辺の地図が表示されます（現在地図画面）。



- ① レーン情報
次の交差点のレーン情報が表示されます。
 - ② 次の案内地点情報
次の案内地点での進行方向と距離情報が表示されます。
 - ③ (コンパスボタン)
地図の方が表示されます。
タッチすると、地図の向きと2D/3D表示を切り替えることができます。(→ P.45)
 - ④ 到着予想時刻と残距離
目的地または経由地（追加目的地）までの到着予想時刻と距離情報が表示されます。
 - ⑤ [広域] / [詳細]
タッチすると、地図の縮尺を変えることができます。(→ P.44)
 - ⑥ [Menu]
メニューを表示して下記の操作を行うことができます。
 - [周辺施設] (→ P.58)
 - [地点登録] (→ P.74)
 - [再探索] (→ P.66)
 - [案内中止] (→ P.72)
 - [表示切替] (→ P.40)
 - [リアカメラ] (→ P.95)
 - ⑦ 時計
現在の時刻を表示します。
 - ⑧ 目的地（経由地（追加目的地））方向
目的地（経由地が設定されている場合は次の経由地）までの直線方向を表示します。
 - ⑨ 現在地情報
現在の自転車位置の住所情報が表示されます。
 - ⑩ 自転車マーク
現在の自転車位置を表示します。
 - ⑪ GPS マーク
GPSの測位状態を色で表示します。
青：GPS 3D 測位状態
黄：GPS 2D 測位状態
赤：GPS 未測位状態
 - ⑫ 一時停止アイコン
前方に一時停止地点がある場合、一時停止アイコンが表示されます。
 - ⑬ 方面看板
方面看板情報がある交差点に近づく则表示されます。表示しないように設定することもできます。(→ P.88)
- 細街路*は、細街路の走行中に表示されます。（細街路以外を走行中でも表示される場合があります）。
市街地図(→ P.45)の表示中は、常に細街路が表示されます。
- 方面看板表示地点で、案内ポイントでの割り込み表示(→ P.62)地点がある場合、案内ポイントの割り込み表示を優先します。
- *：細街路とは、幅員5.5m未満の道路のことをいいます。

ランドマークの情報を見る

1 情報を表示したいランドマークのアイコンをタッチする



- 施設名と現在地への距離が表示されます。
- 施設名や住所などの詳細情報を見るには、[情報] にタッチします。



- スクロールカーソルにタッチすると下記の操作を行うことができます。



- [目的地にする] : タッチした施設を目的地として設定します。
- [地点登録] : タッチした施設を地点登録します。
- [周辺施設] : 周辺施設検索画面を表示します。



- ランドマークは、800m以下のスケールで表示します。
- 施設名や住所、電話番号などの詳細情報は、本機のデータベースから取得できた場合に表示されます。表示される内容は、取得できた情報によって異なります。

ゾーン 30 表示について

走行速度が 30km/h 以下に制限されたエリア「ゾーン 30」を地図上に表示します。

- 「ゾーン30」エリアをポリゴンで表示します。
- 「ゾーン30」の表示設定は、88 ページの「ナビゲーションの設定をする」をご覧ください。



ゾーン 30 表示

地図の縮尺を変える

1 [広域]または[詳細]をタッチする



- それぞれのボタンにタッチし続けると、連続して拡大または縮小されます。

スケールバーで縮尺を変える

1 縮尺表示をタッチして、指定したい縮尺をタッチする



ピンチアウト / ピンチインで縮尺を変える

ピンチアウトすると「詳細」に、ピンチインすると「広域」に縮尺を変更します。

■ ピンチアウト



■ ピンチイン



市街地図について

市街地図は、縮尺が50m以下の市街図スケールで表示されます。



- 市街地図が収録されていない地域もあります。
- 市街地図では、道路によっては自車マークが道路の中央や右側に表示されることもあります。
- 現在地の地図画面の縮尺は記憶されます。このため、スクロール地図画面(→P.46)で縮尺を変えても、現在地の地図画面に戻ったときは、直前の現在地の地図画面と同じ縮尺で表示されます。

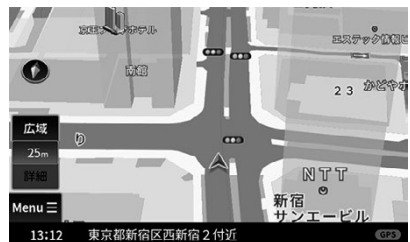
地図の表示方法を切り替える

1 地図画面のコンパスボタンをタッチする

- タッチすることにより地図の向きと2D/3D表示が切り替わります。



- (3Dヘディングアップ) 進行方向が画面の上方向になる向きで、3D地図が表示されます。市街地図では、周囲の建物を再現した詳細なバーチャル3Dマップが表示されます。



- (ノースアップ) 2D地図の北が画面の上方向のように表示されます。
- (ヘディングアップ) 2D地図で進行方向が画面の上方向のように表示されます。



- 地域によっては、バーチャル3Dマップを表示できない場所があります。

地図をスクロールする

地図のスクロールには、次の方法があります。

■ ドラッグスクロール

指の動きに合わせて地図がスクロールします。



■ フリックスクロール

フリックした方向に地図がスクロールします。



■ ポイントスクロール

地図にタッチすると、タッチした場所が画面の中央に表示されるように地図がスクロールします。



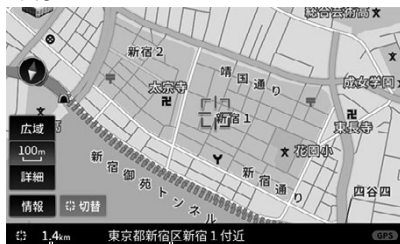
- スクロールした後に本機上面にある現在地ボタンを押すと、現在地図画面に戻ります。



- 地図の向きが3Dヘディングアップの場合、タッチした場所が画面の中央からずれたところにスクロールすることがあります。
- 地図をスクロールした場合、ノースアップからヘディングアップ、および3Dヘディングアップに表示方法を変更できません。

スクロール地点の情報について

スクロール後、スクロールカーソルの地点の住所または名称と、現在地への距離をステータスバーに表示します。



- ① 現在地からの距離
現在地からスクロールカーソルの地点までの距離情報が表示されます。
- ② スクロールカーソル地点の情報
スクロールカーソル地点の住所情報が表示されます。またスクロールカーソル地点がランドマーク及び施設アイコンの場合は、ランドマーク及び施設アイコンの名称を表示します。

ナビゲーションの流れ

1

行き先を探す

目的地設定画面から

名称やジャンルなど、さまざまな方法で行き先を探します。



地図画面から

地図をスクロールして行きたい場所を探し、スクロールカーソルをタッチした後、[目的地にする]をタッチします。



2

行き先に設定する

[目的地確定] にタッチする

探した場所が目的地に設定され、ルートが探索されます。



• 経由地（追加目的地）は、目的地を設定した後に設定することができます。

3

ルートを設定する

ルートを確認・編集する

探索したルートの確認や、他のルートの探索を行います。



[5ルート選択] :

[推奨] / [有料優先] / [一般優先] / [距離優先] / [別ルート] から指定した条件でルートを探索します。

[ルート編集] :

途中で立ち寄りたい場所を設定したり、立ち寄る順番を変更できます。

[情報] :

選択したルートの情報を確認します。

池袋 / 天保山 :

利用するインターチェンジを変更します。有料道路を使用するときに表示されます。

4

案内を開始する

[案内開始] にタッチする

ルート案内が始まります。



ルート案内を開始した後は

- 経由地（追加目的地）の設定・入れ替え
途中で立ち寄りたい場所を設定したり、立ち寄る順番を変更できます。
- 案内中止 / 再開
ルート案内を中止 / 再開します。

自宅を登録する / 自宅へ帰る

自宅を登録する

自宅を登録すると、お出かけ先から自宅までのルート案内を簡単に始めることができます。

- 1 メインメニューボタン(→ P.39)を押して[自宅]をタッチする



- 確認メッセージが表示されます。

- 2 [はい]をタッチする
- 3 自宅の検索方法をタッチする



- ここでは住所で説明します。
- 住所以外の検索方法については、50ページの「行き先を探す」をご覧ください。

- 4 画面に従って自宅の住所を入力する



- 5 [セット]をタッチする



- 6 [完了]をタッチする



- この画面で自宅の名称などを編集することができます。自宅情報の編集方法については 49 ページの「自宅情報を編集する」をご覧ください。

自宅へ帰る

本機に登録した自宅までのルート案内を開始します。

- 1 メインメニューボタン(→ P.39)を押して[自宅]をタッチする



- 2 [目的地確定]をタッチする
- 3 [案内開始]をタッチする

- 自宅へのルート案内が開始されます。

自宅情報を編集する

登録した自宅名称や電話番号などを編集できます。

- 1 メインメニューボタン(→ P.39)
を押して[自宅]をタッチする
- 2 [編集]をタッチする



- 3 各項目を編集する



- 各編集方法については下記各ページをご覧ください。
 - 「地図に名称を表示する」(→ P.76)
 - 「名称を編集する」(→ P.76)
 - 「名称読みを編集する」(→ P.77)
 - 「位置を編集する」(→ P.77)
 - 「電話番号を編集する」(→ P.77)

• 自宅のマークは編集できません。

- 4 [完了]をタッチする

- 文字の入力方法については、41 ページをご覧ください。
- 電話番号は11文字まで入力できます。
- 名称には、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号で全角23文字まで入力できます。
- 名称読みは、カタカナで全角23文字まで入力できます。
- 「位置」に表示する緯度経度は日本測地系に基づくものです。

自宅情報を削除する



- 削除した自宅情報を元に戻す方法はありません。間違えないように、慎重に操作してください。

- 1 「自宅情報を編集する」の手順3の画面を表示する
- 2 [消去]をタッチする



- 3 [はい]をタッチする

- 自宅情報が削除されます。

行き先を探す

本機の「目的地設定」画面に表示されるさまざまな方法を使って、行き先（目的地）や立ち寄りしたい場所（経由地（追加目的地））を探ることができます。

1 メインメニューボタン(→ P.39)を押して[目的地検索]をタッチする



- [自宅] :
現在地から自宅に帰るルートを探索して、ルート案内を開始します。(→ P.48)
自宅が未登録の場合はメッセージが表示され自宅を登録することができます。登録方法については 48 ページの「自宅を登録する」をご覧ください。

2 検索方法を選択する



- [名称] :
施設の名称やキーワードで行き先を探します。エリアやジャンルで絞り込むこともできます。(→ P.51)
- [住所] :
住所から目的地を探します。(→ P.53)
- [電話番号] :
電話番号を入力して行き先を探します。(→ P.54)
- [メモリ地点] :
本機に登録した場所（メモリ地点）から行き先を探します。(→ P.55)
- [ジャンル] :
遊ぶ・泊まるなど、ジャンルで行き先を探します。(→ P.55)

- [緯度経度] :
緯度経度を入力して行き先を探します。(→ P.56)
- [履歴] :
いままでにルートを探索した行き先から探します。(→ P.57)



- 地図をスクロールして[目的地確定]にタッチすると、スクロールカーソルの位置を行き先に設定できます。(→ P.58)
- 周辺施設を指定して行き先を探することができます。(→ P.58)

検索結果画面での営業時間外表示について

目的地検索の周辺検索、ジャンル検索、名称検索、電話番号検索では、検索した施設が営業時間外の場合「営業時間外」と表記されます。



- 営業時間外表示ができるジャンルは、駐車場、コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファーストフード、喫茶店・カフェ、ラーメン店、回転寿司、ATM、充電スポットです。
- 隔週定休日、不定期な休日や営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。
- 営業時間のデータがない施設の場合は、「営業時間外」を表示できません。
- 実際の営業時間は各施設にお問い合わせください。

名称から探す

会社や店舗などの施設名（読みがな）から行き先を探します。

1 [名称]をタッチする



2 施設の名前を入力して、[検索]をタッチする



- 文字の入力方法は 41 ページをご覧ください。



- 施設名の入力時に、「㇀」(濁点)や「㇁」(半濁点)を省略して清音で入力できます。また、「っ」(促音)や「ゃ」「ゅ」「ょ」など(拗音)も、通常の文字で入力できます。
- 文字を入力するたびに、「完全一致」または「部分一致」に該当する件数が表示されます。

3 行き先をタッチする



- [全ジャンル] : さらにジャンルで絞り込みます。(→ P.53)

- [全国] : さらに指定したエリアで絞り込みます。(→ P.52)
- [ソート] : 検索結果を名称順や距離順で表示します。
- [↑↓] : 検索結果を昇順・降順で表示します。

4 [目的地確定]をタッチする



- タッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.59)



- 地図をスクロールして[目的地確定]にタッチすると、スクロールカーソルの位置を行き先に設定できます。
- 一部の施設では、ピンポイントで場所を指定できない場合があります。その場合は「該当する施設の地点が特定できません 周辺の地図を表示します。」と表示し、付近の地図が表示されます。

エリアを指定して絞り込む

検索結果をさらに指定したエリアで検索することができます。

■ 住所から絞り込む

- 1 「名称から探す」(→ P.51)の手順
3の画面で[全国]をタッチする



- 2 [住所]を選択し、画面に従って指定したい住所を選ぶ



- 3 行き先をタッチする



[目的地確定] にタッチすると、ルート
の探索が始まります。(→ P.59)

■ 周辺地図から絞り込む

- 1 「名称から探す」(→ P.51)の手順
3の画面で[全国]をタッチする



- 2 [周辺]を選択し、[現在地周辺]または
[目的地周辺] (目的地設定時のみ)を
タッチする



- 3 地図をスクロールしてスクロール
カーソルを指定したい地点に合わせ
[セット]をタッチする



- 4 行き先をタッチする



[目的地確定] にタッチすると、ルート
の探索が始まります。(→ P.59)

ジャンルで絞り込む

検索結果をさらに指定したジャンル（施設の種類）で絞り込むことができます。

- 1 「名称から探す」(→ P.51)の手順
3の画面で[全ジャンル]をタッチする



- 2 ジャンル名をタッチする



・ さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。

- 3 行き先をタッチする



[目的地確定] にタッチすると、ルート
の探索が始まります。(→ P.59)

住所から探す

住所から行き先を探します。

- 1 [住所]をタッチする



- 2 画面に従って行き先にしたい住所
を選ぶ



[目的地確定] にタッチすると、ルート
の探索が始まります。(→ P.59)



- ・ 番地の入力画面では、番、号は、"-"でつないで一度に入力することができます。
- ・ [あ]～[わ]にタッチすると表示中のリストを頭出しします。
- ・ [〇〇主要部]にタッチするとそれぞれの代表地点を地図で表示します。

周辺住所から探す

入力した住所の番地がなかった場合は、入力した住所付近の地図が表示されます。[周辺住所]をタッチすると周辺住所リストを表示して番地以下の住所を選択することができます。

- 1 「住所から探す」(→ P.53)の手順
2の画面で丁目まで入力して[検索]
をタッチする



- 2 [周辺住所]をタッチする



- 3 周辺住所リストから行き先を選択して[セット]をタッチする



[目的地確定]にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.59)

電話番号で探す

電話番号から行き先を探します。

- 1 [電話番号]をタッチする



- 2 番号を入力して[検索]をタッチする



- 電話番号のハイフンは入力しません。
- 削除 :
カーソルの前にある数字を消去します。

[目的地確定]にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.59)



- 電話番号検索で指定した番号に該当する施設がない場合は、局番が使用されている地域の地図が表示されます。局番も見つからなかった場合は、「該当する電話番号が検索できません。確認して修正してください」というメッセージが表示されます。
- 一部の施設では、ピンポイントで場所を指定できない場合があります。その場合は「該当する施設の地点が特定できません。周辺の地図を表示します」と表示し、周辺の地図が表示されます。
- 電話番号検索では一部の施設で営業時間外の場合、「営業時間外」が表記されます。(→ P.50)
- 個人宅を電話番号で検索すると、個人宅の名字の入力が必要になります。
- 指定した番号に該当する施設がない場合は、メッセージが表示されます。
- 電話番号検索をするときは、国番号の入力は必要ありません。

メモリ地点から探す

ナビに登録した地点から行き先を探します。



- ・ 事前に本機に地点を登録してください。地点の登録方法は 74 ページをご覧ください。
- ・ メモリ地点の編集については、75 ページをご覧ください。

1 [メモリ地点]をタッチする



2 指定したいメモリ地点をタッチする



- ・ [ソート] : 検索結果をマーク順、登録順、50音順で表示します。
- ・ [↑↓] : 検索結果を昇順・降順で表示します。

[目的地確定] にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.59)

ジャンルから探す

遊ぶ・泊まるなど、目的のジャンルから行き先を探します。

1 [ジャンル]をタッチする



2 ジャンル名をタッチして[検索]をタッチする



- ・ さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。

3 指定したい施設をタッチする



- ・ [ルート沿い考慮] は、ルート案内中のみ選択できます。(→ P.69)
- ・ [ソート] : 検索結果を種類順や距離順で表示します。
- ・ [↑↓] : 検索結果を昇順・降順で表示します。

[目的地確定] にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.59)



- ・ 表示件数: 最大200件
- ・ 検索範囲: 設定位置から半径50km以内

エリアを指定する

検索結果を指定したエリアで検索することができます。

- 1 「ジャンルから探す」(→ P.55)の手順2の画面で[現在地]をタッチする



- 2 [現在地周辺]、[住所指定]、[目的地周辺]のいずれかをタッチする



- [現在地周辺] : 現在地の周辺地図が表示されます。
- [住所指定] : 住所を入力して該地点の地図が表示されます。
- [目的地周辺] : 目的地の周辺地図が表示されます。

- 3 指定したい地点にスクロールして[セット]をタッチする



緯度経度で探す

緯度経度から行き先を探します。


- 1 [緯度経度]をタッチする



- 2 緯度経度を入力して[検索]をタッチする

- 緯度経度は[世界測地系]と[日本測地系]を選択できます。



-  削除 : カーソルの前にある文字を消去します。

▼
[目的地確定]にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.59)

履歴から探す

いままでにルートを探した行き先から探します。

1 [履歴]をタッチする



2 指定したい履歴地点をタッチする



- [前回出発地] : 前回のルート案内時の出発地が表示されます。

[目的地確定] にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.59)



- 目的地または経由地(追加目的地)として設定した場所が履歴に保存されます。
- 検索履歴は100か所まで保存されます。100か所を超えると、古いものから自動的に削除されます。

履歴を削除する

履歴地点を削除します。



- 削除した履歴地点は元に戻せません。削除する履歴を間違えないように操作してください。

1 履歴検索画面で[履歴消去]をタッチする



- リストの履歴地点をタッチすると履歴地点の地図を表示して確認することができます。

2 削除する履歴地点のリストをタッチする

- チェックボックスをタッチすることで複数選択でき、複数削除することもできます。



- [全選択] : リスト内のすべての地点を選択します。
- [全選択解除] : リスト内のすべての地点の選択を解除します。

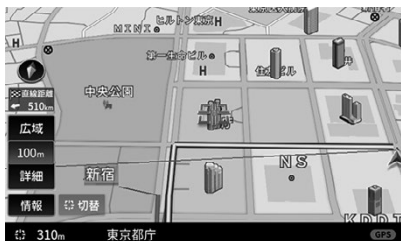
3 [消去]をタッチして、[はい]をタッチする

地図から探す

地図をスクロールして行き先を探します。

- 地図上でユーザーがスクロールした地点
- 施設アイコンをタッチ(表示設定したアイコン(→ P.41))
- ランドマークをタッチ(下記画面のような建物アイコン)

1 地図をスクロールしてスクロールカーソルを指定したい地点に合わせる



2 スクロールカーソルをタッチする

3 [目的地にする]をタッチする



- [地点登録] : タッチした施設を地点登録します。
- [周辺施設] : 周辺施設検索画面を表示します。

[目的地確定] にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.59)

周辺施設から探す

周辺施設から行き先を探します。

1 現在地図画面で[Menu]をタッチする

2 [周辺施設]をタッチする



3 ジャンル名をタッチして[検索]をタッチする



- [全ジャンルから選ぶ] を選択すると、他ジャンルを選択可能です。

4 指定したい施設をタッチする



- [ソート] : 検索結果を種類順や距離順で表示します。
- [↑↓] : 検索結果を昇順・降順で表示します。

[目的地確定] にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.59)



- 手順4の[ルート沿い考慮]は、ルート案内中のみ選択できます。(→ P.69)

ルートの探索と案内

ルートの探索と案内を開始する

指定した場所を行き先（目的地）に設定して、ルートの探索と案内を開始します。有料優先や距離優先など、探索条件を指定することもできます。

目的地に設定してルートを探る

ここまでの手順 ▶

行き先を探す (→ P.50)

1 [目的地確定]をタッチする



- 表示している地点が目的地に設定され、ルートの探索が始まります。
- すでに目的地が設定されているときは、[追加目的地]と[新規目的地]を選択できます。[新規目的地]を選択した場合は、以前の目的地が削除され、新しい目的地に変更されます。
- 設定した目的地が線路や河川などの水域付近の場合は、メッセージが表示されます。そのまま目的地にする場合は[いいえ]、目的地を移動する場合は[はい]にタッチします。



- 経由地(追加目的地)を設定する場合は67ページをご覧ください。
- 高速・有料道路・トンネル・フェリー航路上に目的地を設定した際にメッセージが表示される場合があります。
 - [設定する]: 高速・有料道路・トンネル・フェリー航路を目的地に設定します。
 - [他の道路]: 一般道(トンネルを除く)を目的地に設定します。

2 [案内開始]をタッチする

- ルート案内が開始されます。

ルートの探索条件を選択して案内を開始する

1 [5ルート選択]をタッチする

- 目的地までの所要時間と距離が表示されます。有料道路を通る条件の場合は、料金、及び最初と最後のIC名が表示されます。



- [情報]: 選択しているルートの詳細を表示します。(→ P.60)

2 ルートの探索条件をタッチする





- [推奨]: 本機が推奨するルートです。
- [有料優先]: 高速道路(有料道路)を優先的に通るルートです。
- [一般優先]: 一般道を優先的に通るルートです。一般道だけで目的地に到達できない場合は、高速道路(有料道路)を通るルートになります。
- [距離優先]: 走行距離ができるだけ短くなるルートです。ただし、最短距離にならない場合があります。
- [別ルート]: 推奨ルートの次に推奨するルートです。ルートが遠回りになる場合、推奨ルートと同じルートとなることがあります。再探索時は、既存のルートを通りにくくしたルートです。
- [全行程一覧]: 各条件のルートと比較することができます。(→ P.60)

3 [案内開始]をタッチする

- ルート案内が開始されます。
- 「現在地ボタンを押す」、「メインメニューボタンを押す」、「走行開始かつ3秒間無操作」でもルート案内が開始されます。
- 表示される料金は、ETC 割引などの各種割引は考慮されません。
- フェリーを利用したルートを案内する場合は料金表示欄の下に「フェリーを利用」と表示されます。
- フェリーを利用したルートを案内する場合の「料金」表示には、フェリーの利用料は含まれていません。
- 料金が不明な道路を経由した場合、「XXXXX 円以上」または「不明」と表示される場合があります。
- 有料道路上に目的地を設定した場合、料金が表示されないことがあります。

■ エコルートについて

各ルートの予想燃料消費量から最も少ないルートに  や  (エコマーク) を表示します。


- エコマークを表示するための燃料消費量の計算は下記を基に算出しています。
 予想燃料消費量 =
 (一般道走行距離 / 一般道燃費(8km/ℓ)) +
 (高速道走行距離 / 高速道燃費(10km/ℓ))

■ 全行程一覧について

59 ページの「ルートの探索条件を選択して案内を開始する」の手順2で[全行程一覧]にタッチすると各条件のルートと比較することができます。



	推奨	有料優先	一般優先	距離優先	別ルート
① 行程	82km	77km	74km	72km	77km
② 有料道路	81km	76km	0.0km	1.8km	76km
③ 料金	3070円	3020円	0円	不明	3020円
④ 所要時間	1時間 11分	1時間 10分	2時間 29分	2時間 23分	1時間 10分
⑤ エコ					

- ① 行程
目的地までの走行距離を表示します。
- ② 有料道路
有料道路を走行する距離を表示します。
- ③ 料金
有料道路の料金を表示します。
- ④ 所要時間
目的地までの所要時間を表示します。
- ⑤ エコ
各ルートの予想燃料消費量から最も少ないものに  (エコマーク) を表示します。

■ ルート情報について

59 ページの「ルートの探索条件を選択して案内を開始する」の手順1で [情報] にタッチすると選択しているルートの詳細を表示することができます。



区間	距離	到着予想時間
成田国際空港(成田空港)		14:10頃
一般道	0.4km	
IC 新空港IC		14:09頃
新空港道	4.7km	
¥ 成田料金所	¥ 1750円	14:09頃
新空港道	1.0km	

- ① 区間距離または料金
- ② 到着予想時間
- ③ [地図]: 周辺地図を表示します。

複数の到着地点情報があったとき

名称、電話番号、ジャンル、周辺施設で検索した施設に複数の到着地点情報がある場合は、到着地点を選ぶことができます。

ここまでの手順 ▶

行き先を探す (→ P.50)

1 [はい]をタッチする



2 指定したい到着地点アイコンをタッチする



- 到着地点の優先度に合わせて、アイコンを表示が表示します。(優先度 1～10 番目までは、数字付アイコンを表示します。)
- 複数の施設が重なっている場合、[切替] ボタンをタッチすると、施設情報を切り替えることができます。

3 [セット]をタッチする



[目的地確定] にタッチすると、ルートの探索が始まります。(→ P.59)

デモ案内でルートを確認する

地図やルート、画面表示や音声でのルート案内を確認することができます。

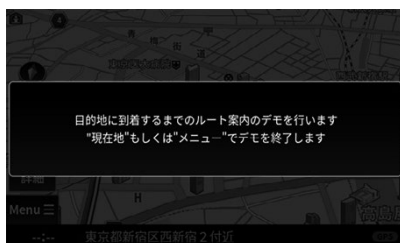
ここまでの手順 ▶

目的地に設定してルートを探索する (→ P.59)

1 [案内開始]を長押しする



- デモ案内が開始されます。



- デモ案内は下記の条件で終了します。
 - 現在地またはメインメニューボタンを押す。
 - リアビューカメラの映像を表示する。
 - 走行を開始する。
 - ナビ画面以外を表示する。
 - [案内中止] をタッチする。

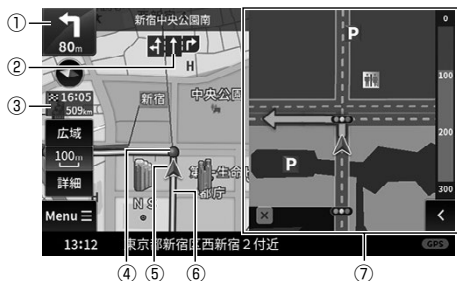
ルート案内画面について

ルート案内中は、案内ルートのほか、案内ポイントや交通情報など、さまざまな情報が地図に表示されます。

本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。

一般道路でのルート案内



一般道路でのルート案内には次の情報が表示されます。



① 次の案内地点情報

次の案内地点の交差点名、距離、及び進行方向が表示されます。交差点に名前がない場合は、交差点名は表示されません。

② レーン情報表示

-  (灰色)：案内レーン
-  (青色)：推奨通過レーン

③ 到着予想時刻と距離

対象の行き先（次の経由地（追加目的地）または目的地）への到着予想時刻と距離が表示されます。経由地（追加目的地）が設定されている場合にタッチすると、表示対象を經由地（追加目的地）/ 目的地で切り替えできます。

④ 案内地点

⑤ 自車マーク

⑥ 案内ルート

目的地または経由地（追加目的地）までのルートです。道路の種類（一般道 / 高速道路・有料道路 / 細街路）によって色分けして表示されます。季節規制道路は規制期間内、期間外に関わらず、ルート配色を赤色に表示します。また、時間や季節規制で道路交通規制中の道路を利用しないと辿り着けないルートの場合は、該当ルートに×アイコンを表示します。

⑦ 割り込み表示

案内地点の情報を割り込み画面で表示します。「割り込み表示」については、63 ページの「案内ポイントでの割り込み表示」をご覧ください。

■ ターンリストの表示

ナビ詳細設定（→ P.88）でターンリスト自動表示の設定を ON にすると、自車位置から目的地までのルート上にある案内分岐点の情報をリストで表示します。



① 自車マーク

② 案内ルート

③ スクロールボタン / 現区間

ターンリスト画面内の案内分岐点情報をスクロールします。スクロールすると [現区間] ボタンが表示されます。[現区間] をタッチすると、案内分岐点情報が現在地に近い分岐点に戻ります。

④ ターンリスト画面

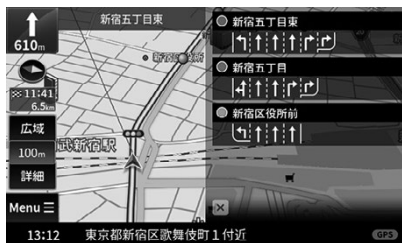
一般道を走行中に、自車位置から目的地までのルート上にある案内分岐点の情報を表示します。

⑤ 案内分岐点情報表示

案内分岐点での国道・県道表示と進行方向、交差点名称、分岐点までの距離を表示します。

■ レーンリストの表示

一般道走行時に案内する交差点の約 700m 手前に近づくると案内する交差点のレーン情報を最大 4 か所リストで表示されます。



高速道路でのルート案内

高速道路でのルート案内中は、自動的に高速略図（ハイウェイモード）画面が表示されます。



- ① 自車マーク
- ② 案内ルート
- ③ スクロールボタン / 現区間

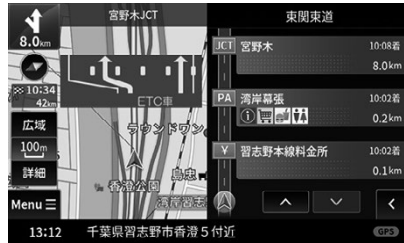
高速略図（ハイウェイモード）画面内の施設情報をスクロールします。スクロールすると「現区間」ボタンが表示されます。「現区間」をタッチすると、施設情報が現在地に近い施設に戻ります。

- ④ 高速略図（ハイウェイモード）画面
高速道路を走行中に、ルート上にある施設の情報を表示します。
- ⑤ 施設名称 / 施設案内表示
進行方向にあるインターチェンジ（IC） / ジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、パーキングエリア（PA）、料金所の名称と距離、通過予想時刻、各施設の設備が表示されます。施設情報に表示される設備のマークは、最大7個です。

- 高速略図（ハイウェイモード）画面は、ルート案内中だけでなく、高速道路を走行中に表示されます。ただし、高速道路によっては高速略図（ハイウェイモード）画面が表示されない場合があります。

ETC レーン表示

出口または本線料金所に近づくと、料金所ゲートの ETC レーンが表示されます。ETC レーンは、ルート案内していないときにも表示されます。場所によっては ETC レーン情報が無い場合があります。その場合は表示されません。



案内ポイントでの割り込み表示

案内ポイントに近づくと、ここでは案内、交差点案内図、高速道分岐イラストが表示されます。割り込み表示は、地図画面で表示されます。

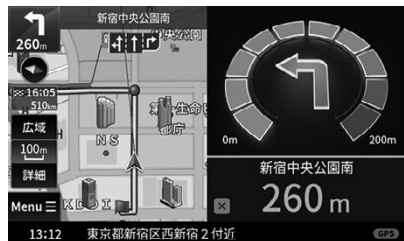
割り込み表示は案内ポイントを通過すると自動的に消えます。通過前に消したいときは、**×** または割り込み表示部分にタッチしてください。消した割り込み表示は、**◀** にタッチするともう一度表示できます。



- AV 画面を表示しているときに割り込み表示があると、割り込み表示画面に切り替わります。
- 割り込み表示は表示しないように設定することができます。
- 案内中に表示された、ここでは案内/レーンリスト/交差点拡大図/各種イラスト画面を切り替えて確認したい場合は、割り込み表示画面の×または画面領域をタッチしてください。

ここでは案内表示

案内する交差点の約 300m（高速道路は約 1km）手前に近づくと表示されます。



交差点案内図の表示

■ 交差点拡大図

約 300m (高速道路は約 1km) 手前に近づくと表示されます。



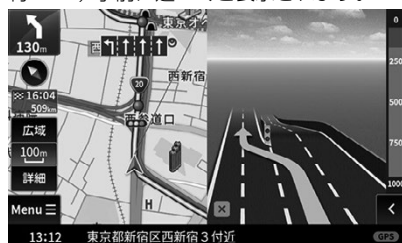
■ リアル交差点イラスト

イラスト情報がある場合、約 300m 手前に近づくと表示されます。



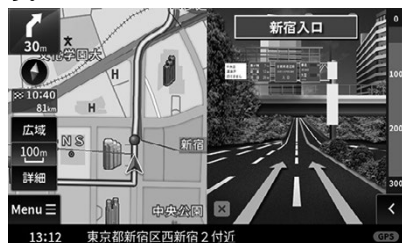
側道分岐イラスト

イラスト情報がある場合、約 300m (高速道路は約 1km) 手前に近づくと表示されます。



高速入口イラスト

都市高速道路入口の約 300m 手前で表示されます。



高速道分岐イラストの表示

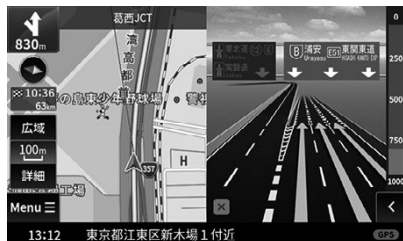
高速道路では、分岐する案内ポイントに近づくと高速道分岐イラストが表示されます。

場所によっては、イラスト情報がない場合があります。

その場合は表示されません。

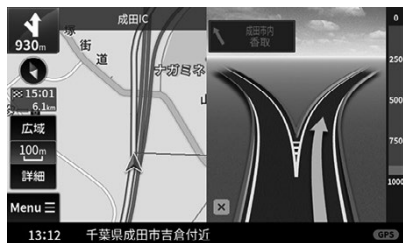
■ 分岐

出口やジャンクションの約 1km 手前で表示されます。場所によっては、実際の看板をイメージしたイラストが表示されます。



■ 料金所後分岐

料金所を通過後に分岐がある場合に表示されます。



細街路案内について

ルート案内で細街路を走行する場合、画面にメッセージを表示します。必ず、実際の交通規制に従って走行してください。

● 細街路注意喚起メッセージ



- 細街路とは、幅員5.5m 未満の道路のことをいいます。

逆走注意喚起について

自車が高速道路のSA・PA内にいる時に本機の電源がOFF/ONされた場合、逆走注意喚起のコーションを表示します。(→ P.89)

● 逆走注意喚起画面



- ・メッセージを確認後、[了解] をタッチしてください。

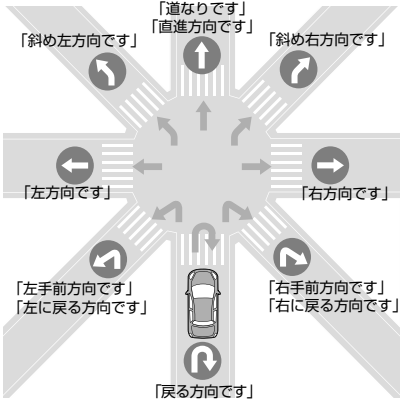
音声案内について

本機はルート案内情報、及び走行状況に応じた道路情報の音声案内を行います。案内は状況によって正しく行われなかったことがあります。実際の道路状況を確認して、交通規制に従って走行してください。

- ・音声案内の音量調整は93 ページをご覧ください。

進行方向の音声案内

交差点での進行方向は、次のように案内します。



- ・本線を直進する場合でも、左または右に分岐路があると「斜め右方向です」または「斜め左方向です」とアナウンスされる場合があります。
- ・道路の形状によっては、実際の進行方向が音声案内と異なる場合があります。

合流 / 踏切の音声案内

走行中の合流、踏切情報に応じて、以下の音声案内を行います (ルート案内中以外でも音声案内を行います)。これらの音声出力の設定は変更することができます。(→ P.88)

案内の種類	音声
合流案内	この先、左からの合流があります。
	この先、右からの合流があります。
	この先、左(右)からの合流があります。その先、左(右)からの合流があります。
踏切案内	この先、踏切です。

- ・合流案内は都市間高速・都市高速・有料道路のみで音声案内します。入口ランプから本線に合流する地点では音声案内をしません。

一時停止の音声案内

一時停止情報がある交差点の手前で、音声案内を行います。(→ P.88)

音声
この先、一時停止があります。

リクエスト案内

ルート案内中に現在地ボタンを押すと、直近の案内分岐点までの距離に応じた音声案内、または運転アドバイスについて音声案内を行います。

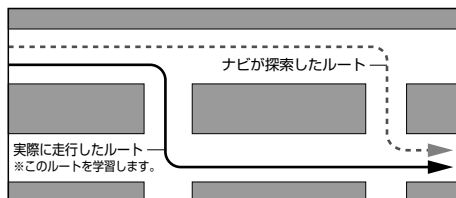
● リクエストタイミング

進入道路	リクエスト開始	リクエスト終了
分岐案内	分岐案内発生時	分岐地点通過時
合流案内	合流案内発生時	合流地点通過時
踏切案内	踏切案内発生時	踏切地点通過時
一時停止案内	一時停止案内発生時	一時停止通過時

音声
まもなく、左(右)方向です。
この先、左(右)からの合流があります。
この先、踏切があります。
この先、一時停止があります。

ルート学習について

ナビが案内するルートと違うルートを数回走行していると、実際に走るルートをナビが学習します。また学習結果をルート探索時に考慮するかを設定することができます。(→ P.89)



- ナビ詳細設定でルート学習結果を消去することができます。(→ P.89)

ルートを再探索する

現在地から、探索条件（推奨、有料優先、一般優先、距離優先、別ルート）を変更して、ルートを再探索します。

1 メインメニューボタンを押して[ルート]をタッチする



2 [ルート編集]をタッチする



3 [探索条件変更]をタッチする



- [目的地追加]：
経由地（追加目的地）を追加することができます。68 ページの「[ルート]から経由地（追加目的地）を追加する」の手順 3 からの操作をご覧ください。
- [目的地消去]：
目的地・経由地（追加目的地）を削除することができます。70 ページの「目的地・経由地（追加目的地）を削除する」の手順 2 からの操作をご覧ください。

4 探索条件を選んで[決定]をタッチする



[案内開始] にタッチすると、ルートの探索が始まります。



- 手順4で現在地が高速道路(有料道路)と一般道が並走している地点の場合、マップマッチングしている道路の並走路を現在地として切り替えて探索することができます。マップマッチングしている道路が一般道の場合は[有料道から探索]ボタンが表示され、高速道路(有料道路)の場合は[一般道から探索]ボタンが表示されます。
- ルートの種類を変更して再探索したいときは乗降ICの指定が解除される場合があります。

地図画面からルートを再探索する

1 現在地図画面で[Menu]をタッチする

2 [再探索]をタッチする



3 探索条件を選んでタッチする



タッチすると、ルートの探索が始まります。



- 手順3で現在地が高速道路(有料道路)と一般道が並走している地点の場合、マップマッチングしている道路の並走路を現在地として切り替えて探索することができます。マップマッチングしている道路が一般道の場合は[有料道から探索]ボタンが表示され、高速道路(有料道路)の場合は[一般道から探索]ボタンが表示されます。
- ルートの種類を変更して再探索したいときは乗降ICの指定が解除される場合があります。

ルートを編集する

経由地(追加目的地)の追加や順番の入れ替え、削除など、ルートの編集ができます。

経由地(追加目的地)を追加する

ルートの途中に立ち寄る地点を追加します。経由地(追加目的地)は5か所まで追加できます。



- 目的地が設定されていないときは経由地(追加目的地)を設定できません。

ここまでの手順 ▶

経由地(追加目的地)にしたい行き先を探す(→P.50)

1 [追加目的地]をタッチする



ルートの探索が始まります。

- 挿入位置の変更や削除については、70ページをご覧ください。

2 [案内開始]をタッチする



• [ルート編集] :

到着順を編集することができます。編集操作は70ページの「目的地・経由地(追加目的地)の順番を入れ替える」の手順2からの操作をご覧ください。

新しいルートで案内が開始されます。

[ルート]から経由地(追加目的地)を追加する

1 メインメニューボタンを押して[ルート]をタッチする



2 [ルート編集]をタッチする



3 [目的地追加]をタッチする



4 追加したい経由地(追加目的地)を検索する



5 [追加目的地]をタッチする



6 追加目的地の挿入位置を確認し、[決定]をタッチする



7 [決定]をタッチする



- ルートの探索が始まります。
- ・ 挿入位置の変更や削除については、70ページをご覧ください。

8 [案内開始]をタッチする



- ・ [ルート編集] :
到着順を編集することができます。編集操作は70ページの「目的地・経由地(追加目的地)の順番を入れ替える」の手順2からの操作をご覧ください。

新しいルートで案内が開始されます。

ルート沿いを考慮して経由地(追加目的地)を追加する

経由地(追加目的地)を追加するときに「ジャンル」、「周辺施設」から検索した場合は、設定している目的地のルート沿いを考慮した経由地(追加目的地)を設定することができます。

- 1 「ジャンルから探す」(→ P.55)
の手順3または「周辺施設から探す」(→ P.58)の手順4の画面で「ルート沿い考慮」のチェックボックスをタッチする



検索結果がルート沿い施設のみに絞り込まれます。

2 指定したい施設をタッチする

3 [追加目的地]をタッチする



4 追加目的地の挿入位置を確認し、[決定]をタッチする



5 [決定]をタッチする



- ・ ルートの探索が始まります。
・ 挿入位置の変更や削除については、70ページをご覧ください。

6 [案内開始]をタッチする



- [ルート編集] :
到着順を編集することができます。編集操作は 70 ページの「目的地・経由地 (追加目的地) の順番を入れ替える」の手順 2 からの操作をご覧ください。

新しいルートで案内が開始されます。

目的地・経由地 (追加目的地) の順番を入れ替える

目的地・経由地 (追加目的地) の順番を変更します。目的地と経由地 (追加目的地) が設定されているときに順番を変更できます。

1 メインメニューボタンを押し、[ルート]をタッチして[ルート編集]をタッチする



2 順番を変更する行き先の [≡] を変更したい順番にドラッグする



3 追加目的地の挿入位置を確認し、[決定]をタッチする



ルートの探索が始まります。

4 [案内開始]をタッチする



目的地・経由地 (追加目的地) を削除する

- 削除した地点は元に戻せません。間違えないように、慎重に操作してください。
- 目的地を削除すると、最後の経由地 (追加目的地) が目的地になります。

1 メインメニューボタンを押し、[ルート]をタッチして[ルート編集]をタッチする



2 [目的地消去]をタッチする



3 削除する行き先のチェックボックスをタッチする



- ・ [全消去] をタッチして [はい] をタッチするとすべての行き先が削除されます。

4 [消去]をタッチする



- ・ リストの目的地・経由地（追加目的地）をタッチすると目的地・経由地（追加目的地）を地図を表示して確認することができます。

5 [はい]をタッチする

- ・ 選択した行き先が削除されます。

6 [案内開始]をタッチする

新しいルートで案内が開始されます。

利用するインターチェンジを変更する

探索された入口または出口 IC（インターチェンジ）以外の IC を利用するように指定できます。

- 1 メインメニューボタンを押しして[ルート]をタッチする
- 2 変更したい入口または出口 IC をタッチする



- 3 入口または出口に指定する IC 名をリストから選び [決定] をタッチする



- ・ 指定したインターチェンジに複数の候補がある場合は [次候補] をタッチして選択し、[セット] をタッチします。

4 [案内開始]をタッチする



- ・ 乗降 IC を指定しているときに、経由地（追加目的地）を設定しようとすると確認メッセージが表示され、乗降 IC の指定が解除されます。

変更したインターチェンジを解除する

- 1 メインメニューボタンを押して[ルート]をタッチする
- 2 元に戻したい入口または出口IC をタッチする



- 3 [入口解除]または[出口解除]をタッチする



- 変更する前のインターチェンジを利用するルートで再探索します。

- 4 [案内開始]をタッチする

ルート案内を中止する

ルート案内を途中で中止します。

- 1 メインメニューボタンを押して[ナビメニュー]をタッチする
- 2 [案内中止]をタッチする



ルート案内を中止し、現在地図画面が表示されます。



- 現在地図画面で [Menu] → [案内中止] にタッチしてもルート案内を中止することができます。
- ルート案内を中止しても、スタート地点、経由地(追加目的地)、目的地の旗は消えません。旗を消したい場合は、新たなルート案内を開始するか、目的地設定を解除してください。目的地設定の解除については、73 ページの「目的地設定を解除する」をご覧ください。

ルート案内を再開する

中止したルート案内を再開します。

- 1 メインメニューボタンを押して[ナビメニュー]をタッチする
- 2 [案内再開]をタッチする



ルート案内を再開します。

- 現在地図画面で[Menu]→[案内再開]にタッチしてもルート案内を再開することができます。

目的地設定を解除する

設定している目的地を解除します。

- 1 メインメニューボタンを押して[目的地検索]をタッチする
- 2 [目的地消去]をタッチする

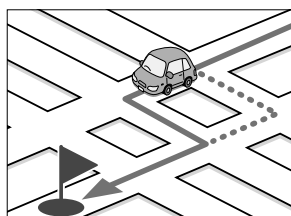
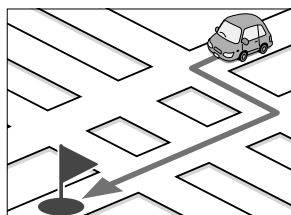


メッセージが表示されます。

- 3 [はい]をタッチする
- 目的地・経由地（追加目的地）が複数設定している場合は、70ページの「目的地・経由地（追加目的地）を削除する」の手順3からの操作をご覧ください。

ルートから外れたときは

案内中のルートから外れた場合、オートリルート機能によって自動的に新しいルートが探索され、案内が再開されます。ルートの再設定などの操作は必要ありません。



地点を登録する

地点を登録する

地図のスクロールや目的地設定画面から探した地点を本機に登録します。

本機には 400 件まで地点を登録できます。

[目的地検索] から地点登録する

ここまでの手順 ▶

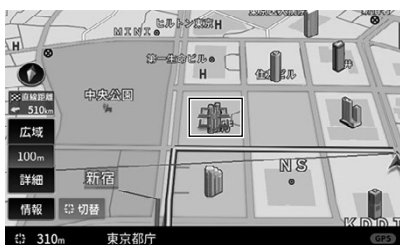
行き先を探す (→ P.50)

1 [地点登録] をタッチする



地図をスクロールして地点登録する

1 登録したい場所にスクロールカーソル移動し、スクロールカーソルにタッチする



2 [地点登録] をタッチする



現在地を地点登録する

1 [Menu] をタッチする



2 [地点登録] をタッチする



メモリ地点編集から地点登録する

1 メインメニューボタンを押して[ナビメニュー] をタッチする

2 [メモリ地点編集] をタッチする



・すでにメモリ地点が登録されている場合は、メモリ地点リスト画面が表示されるので [登録] をタッチします。

3 登録したい場所を検索する



4 [セット]をタッチする



5 [完了]をタッチする



登録した地点をリストで見る

本機に登録した場所をリストで確認します。

- 1 メインメニューボタンを押して[ナビメニュー]をタッチする
- 2 [メモリ地点編集]をタッチする



- メモリ地点がリストで表示されます。



- [ソート] : リストをマーク順、登録順や50音順で表示します。
- [↑↓] : 検索結果を昇順・降順で表示します。

メモリ地点を編集する

本機に登録した地点の名称や電話番号などを編集できます。

- 1 メインメニューボタンを押して[ナビメニュー]をタッチする
- 2 [メモリ地点編集]をタッチする

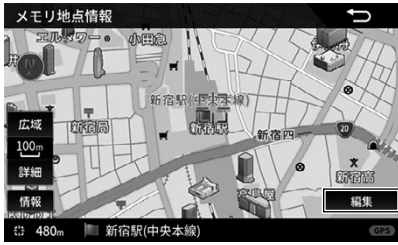


3 編集したい地点をタッチする



- [ソート] : リストをマーク順、登録順や50音順で表示します。
- [↑↓] : 検索結果を昇順・降順で表示します。

4 [編集]をタッチする



5 編集したいボタンまたはチェックボックスをタッチする



- 各編集方法については下記各ページをご覧ください。
 - 「マークを編集する」(→ P.76)
 - 「地図に名称を表示する」(→ P.76)
 - 「名称を編集する」(→ P.76)
 - 「名称読みを編集する」(→ P.77)
 - 「位置を編集する」(→ P.77)
 - 「電話番号を編集する」(→ P.77)

6 [完了]をタッチする



- 「位置」に表示する緯度経度は日本測地系に基づくものです。

マークを編集する

地図上に表示するメモリ地点マークを変更することができます。

- メモリ地点修正画面(76 ページ)の手順5)で「マーク」をタッチする
- 変更したいマークにタッチする



地図に名称を表示する

「地図への名称表示」のチェックボックスをタッチしてチェックを入れると地図上に[名称]で設定した名称を表示します。

- メモリ地点修正画面(76 ページ)の手順5)で「地図への名称表示」のチェックボックスにチェックを入れる

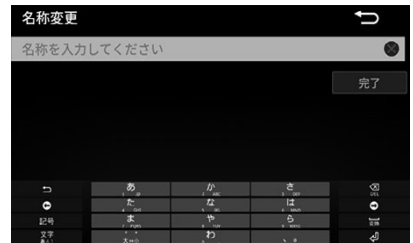
■ メモリ地点名称表示



名称を編集する

メモリ地点の名称を変更することができます。

- メモリ地点修正画面(76 ページ)の手順5)で「名称」をタッチする
- 名称を入力する



3 [完了]をタッチする



- 文字の入力方法については、42 ページ をご覧ください。
- 名称には、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号で全角23 文字まで入力できます。

名称読みを編集する

メモリ地点の名称読みを変更することができます。

- 1 メモリ地点修正画面(76 ページの手順5)で[名称読み]をタッチする
- 2 名称読みをカタカナで入力する



- 3 [完了]をタッチする



- 文字の入力方法については、42 ページをご覧ください。
- 名称読みには、カタカナで全角23 文字まで入力できます。

位置を編集する

メモリ地点周辺の地図から地図をスクロールして位置を変更することができます。

- 1 メモリ地点修正画面(76 ページの手順5)で[位置]をタッチする
- 2 変更したい位置にスクロールカーソルを移動する



- 3 [セット]をタッチする

電話番号を編集する

メモリ地点の電話番号を変更することができます。

- 1 メモリ地点修正画面(76 ページの手順5)で[電話番号]をタッチする
- 2 電話番号を入力する



- 3 [完了]をタッチする



- 電話番号は11 文字まで入力できます。

メモリ地点を削除する



- 削除したメモリ地点を元に戻す方法はありません。間違えないように、慎重に操作してください。

- 1 メインメニューボタンを押して[ナビメニュー]をタッチする
- 2 [メモリ地点編集]をタッチする



3 [消去]をタッチする



- リストのメモリ地点をタッチするとメモリ地点の地図を表示して確認することができます。
- [ソート]:
リストをマーク順、登録順や50音順で表示します。
- [↑↓]:
検索結果を昇順・降順で表示します。

4 削除したい地点のチェックボックスをタッチする

- 複数の地点を選択することもできます。



- [全選択] / [全選択解除]:
リスト内のすべての地点を選択 / 解除します。

5 [消去]をタッチする

6 [はい]をタッチする

- 選択したメモリ地点が削除されます。

地図を確認してメモリ地点を削除する

- 1 メモリ地点消去画面(78 ページ)の手順4)で削除したい地点をタッチする
- 2 [消去]をタッチする



メモリ地点修正画面から削除する

- 1 メモリ地点修正画面(76 ページ)の手順5)で[消去]をタッチする



- 2 [はい]をタッチする
 - メモリ地点が削除されます。

AVの基本操作

ソースを切り替える

ソース切替画面でソース(映像と音源)を切り替えます。

- 1 メインメニューボタンを押して
[ソース切替]をタッチする



- ・ ソース切替画面が表示されます。

- 2 切り替えたいソースをタッチする



■ 地デジ/ワンセグを視聴する

- ・ [地デジ](EZ-950のみ)
- ・ [ワンセグ](EZ-750/EZ-550のみ)
地上デジタル放送を受信します。
(→ P.83)

■ SDメモリーカードのファイルを再生する

- ・ [ミュージック]
SDメモリーカードのオーディオファイルを再生します。(→ P.80)
- ・ [ビデオ]
SDメモリーカードのビデオファイルを再生します。(→ P.81)
- ・ [ピクチャー]
SDメモリーカードのピクチャーファイルを再生します。(→ P.81)

■ STANDBY

- ・ [STANDBY]
ソースをオフにします。

■ AV画面からソース切替画面を表示する

AV画面左上のソース名にタッチすると、ソース切替画面を表示します。



ソースをオフ (STANDBY) にする

- 1 ソース切替画面で[STANDBY]を
タッチする



- ・ ソースをオンにするには、ソース切替画面でソースを選択します。

SDメモリーカードのファイルを再生する

SDメモリーカードを入れる / 出す

- 本機で再生できるSDメモリーカードは14ページの「本機で再生できるSDメモリーカード」をご覧ください。13ページの「SD/SDHCメモリーカードについて」もお読みください。

1 SDメモリーカードを挿入口に入れる、または出す (→ P.37)

- 入れるときは、SDメモリーカードが突き当たるまで奥に差し込んでください。
- 出すときはSDメモリーカードをいったん押し込んでから、つまんで引き出します。

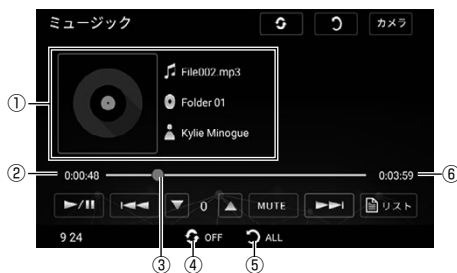
画面の見かたと操作

SDメモリーカードに保存されているオーディオファイル/ビデオファイル/ピクチャーファイルを再生します。



- リピート再生モードとランダム再生モードは同時に設定できません。

オーディオファイルのAV画面



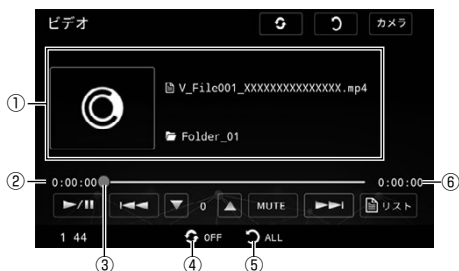
- ① 曲名(ファイル名)、アルバム名(フォルダ名)、アーティスト名
- ② 再生時間
- ③ プログレスバー
- ④ ランダム再生モード
- ⑤ リピート再生モード
- ⑥ 総再生時間

■ 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> • OFF: ランダム再生モードを解除します。 • ON: すべてのファイルをランダム再生します。
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> • ALL: すべてのファイルをくり返し再生します。 • FILE: 再生中のファイルをくり返し再生します。 • FOLDER: 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
	再生または一時停止(ポーズ)します。
	前または次のファイルを再生します(スキップ)。
	音量が切り替わります。
[MUTE]	音声を消音します。
[リスト]	再生リストを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 再生リストについては、82ページの「再生リストについて」をご覧ください。
[カメラ]	[情報・設定]—[リアカメラ]で設定をONにしていると、リアビューカメラの映像を表示します。(→ P.95) <ul style="list-style-type: none"> • リアビューカメラ(別売品)を接続していない場合は、カメラ映像を表示しません。

ビデオファイルの AV 画面

①のビデオ映像部にタッチすると、映像を全画面で表示します。また全画面表示時に、画面をタッチすると、操作画面に戻ります。



- ① ファイル名、フォルダ名、ビデオ映像
- ② 再生時間
- ③ プログレスバー
- ④ ランダム再生モード
- ⑤ リピート再生モード
- ⑥ 総再生時間

■ 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> • OFF: ランダム再生モードを解除します。 • ON: すべてのファイルをランダム再生します。
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> • ALL: すべてのファイルをくり返し再生します。 • FILE: 再生中のファイルをくり返し再生します。 • FOLDER: 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
	再生または一時停止(ポーズ)します。
	前または次のファイルを再生します(スキップ)。
	音量が切り替わります。

ボタン	説明
[MUTE]	音声を消音します。
[リスト]	再生リストを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 再生リストについては、82ページの「再生リストについて」をご覧ください。
[カメラ]	[情報・設定]—[リアカメラ]で設定をONにしていると、リアビューカメラの映像を表示します。(→ P.95) <ul style="list-style-type: none"> • リアビューカメラ(別売品)を接続していない場合は、カメラ映像を表示しません。

ピクチャーファイルの AV 画面





①のピクチャー映像部にタッチすると、映像を全画面で表示します。また全画面表示時に、画面をタッチすると、操作画面に戻ります。



- ① ファイル名、フォルダ名、ピクチャー映像
- ② ランダム再生モード(スライドショー)
- ③ リピート再生モード(スライドショー)

■ 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> • OFF: ランダム再生モードを解除します。 • ON: すべてのファイルをランダム再生します。

ボタン	説明
	<p>タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ALL: すべてのファイルをくり返し再生します。 • FILE: 再生中のファイルをくり返し再生します。 • FOLDER: 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
	再生または一時停止(ポーズ)します。
	前または次のファイルを再生し(スキップ)ます。
	タッチするたびに画像を90度回転します。
[スライドショー]	スライドショー設定を表示し、ピクチャーの表示時間を5s、10s、15sに切り替えることができます。
[サムネイル]	ピクチャーの一覧を表示し、画像を確認しながら選んで表示することができます。
[リスト]	再生リストを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 再生リストについては、82ページの「再生リストについて」をご覧ください。
[カメラ]	<p>[情報・設定]—[リアカメラ]で設定をONにしていると、リアビューカメラの映像を表示します。(→ P.95)</p> <ul style="list-style-type: none"> • リアビューカメラ(別売品)を接続していない場合は、カメラ映像を表示しません。

再生リストについて

[リスト]にタッチすると再生リストを表示します。リストから再生したいファイルを選ぶことができます。

1 [リスト]をタッチする



- フォルダとファイルのリストを表示します。

リスト	説明
フォルダリスト	フォルダを選択します。 [トップ]、[一つ上]にタッチするとフォルダが表示されます。
ファイルリスト	選んだファイルから再生します。

地デジを視聴する (EZ-950 のみ)

B-CAS カードを入れる / 出す (EZ-950 のみ)

B-CASカードの取り扱いについては、16 ページの「B-CAS カードについて (EZ-950のみ)」をご覧ください。

B-CAS カードを差し込む

1 B-CASカードを挿入口に入れる、または出す (→ P.37)

- 入れるときは、B-CASカードが突き当たるまで奥に差し込んでください。
- 出すときはB-CASカードをいったん押し込んでから、つまんで引き出します。



- ご使用中はB-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

画面の見かたと操作

ここまでの手順 ▶

ソースを地デジに切り替える (→ P.79)

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。



- ① 電波の強さ
- ② プリセット番号
- ③ チャンネル番号
- ④ 放送局名/サービス名
- ⑤ 受信モード
- ⑥ 音声の種類
複数の音声 / 二重音声があるときに出力している音声の番号が表示されます。
- ⑦ 字幕の種類
字幕を選択しているときに表示されます。

■ 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[1]~[12] (プリセットチャンネルボタン)	プリセットされている放送局に切り替えます。視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびにサービスが切り替わります。
◀◀ / ▶▶	前または次のプリセット局を選局します。
[オート]/ [12seg]/ [1seg]	タッチするとオート切替、12seg固定、1seg固定を切り替えます。
[番組]	番組表を表示します。 (→ P.84)
[スキャン]	受信できる放送局を検索し、受信できる放送局をプリセットボタンに登録します。
[中継局ON]/ [中継局OFF]	ONIにすると受信レベルが低下して番組を視聴できなくなったとき、自動的に受信可能な中継局を探して切り替えることができます。
▼ / ▲	音量が切り替わります。
[MUTE]	音声を消音します。
[音声]	視聴番組に複数の音声 / 二重音声があるときに、音声を切り替えます。なお、番組によって、切り替わる音声の種類は異なります。
[字幕]	番組に字幕があるときに、字幕を切り替えます。なお、ボタンが表示されていても、字幕が放送されていない場合があります。
[設定]	地デジの各種機能を設定することができます。(→ P.84)
[リスト]	プリセットされている放送局をリストで表示します。リストにタッチすると放送局が切り替わります。
[カメラ]	[情報・設定]—[リアカメラ]で設定をONIにしていると、リアビューカメラの映像を表示します。 (→ P.95) • リアビューカメラ(別売品)を接続していない場合は、カメラ映像を表示しません。

放送局を登録 (プリセット) する

初めてご使用になる場合は、放送局が登録されていないため、初期スキャンを行ってください。

放送局をスキャンして、プリセットボタンに放送局を登録します。

1 [スキャン]をタッチします。



受信できる放送局を検索し、プリセットに登録します。



- スキャンすると、プリセットされていた内容はすべて消去され、新たにプリセットします。

番組表を見る

現在受信している放送局の番組表を表示できます。

1 [番組]をタッチする

- 操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。



- 番組表の番組リストをタッチすると、画面右に詳細情報を表示します。
- すでに放送時間がすぎた番組の番組表は表示できません。
- 番組表データは、電源をOFF/ONすると消去されます。

地デジ設定を切り替える

機能設定画面で各種機能を設定することができます。



- [12seg/1seg 自動切替設定]
オート切替、12seg 固定、1seg 固定を切り替えることができます。
- [中継局サーチ設定]
中継局サーチ自動切替の ON/OFF を切り替えることができます。
- [音声 / 字幕設定]
音声や字幕の設定を切り替えることができます。
- [情報確認]
ソフトウェアバージョンや B-CAS カード情報を確認することができます。
- [地デジ設定初期化]
地デジ設定を初期化することができます。

ワンセグを視聴する (EZ-750・550)

画面の見かたと操作

ここまでの手順 ▶

ソースを地デジに切り替える (→ P.79)

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。



- ① 電波の強さ
- ② プリセット番号
- ③ チャンネル番号
- ④ 放送局名/サービス名
- ⑤ 受信モード
- ⑥ 音声の種類
複数の音声 / 二重音声があるときに出力している音声の番号が表示されます。
- ⑦ 字幕の種類
字幕を選択しているときに表示されます。

■ 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[1]～[12] (プリセット チャンネルボ タン)	プリセットされている放送局に切り替えます。視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびにサービスが切り替わります。
◀◀ / ▶▶	前または次のプリセット局を選局します。
[番組]	番組表を表示します。 (→ P.86)
[スキャン]	受信できる放送局を検索し、受信できる放送局をプリセットボタンに登録します。

ボタン	説明
[中継局ON]/ [中継局OFF]	ONにすると受信レベルが低下して番組を視聴できなくなったとき、自動的に受信可能な中継局を探して切り替えることができます。
▼ / ▲	音量が切り替わります。
[MUTE]	音声を消音します。
[音声]	視聴番組に複数の音声 / 二重音声があるときに、音声を切り替えます。なお、番組によって、切り替わる音声の種類は異なります。
[字幕]	番組に字幕があるときに、字幕を切り替えます。なお、ボタンが表示されていても、字幕が放送されていない場合があります。
[設定]	ワンセグの各種機能を設定することができます。(→ P.86)
[リスト]	プリセットされている放送局をリストで表示します。リストにタッチすると放送局が切り替わります。
[カメラ]	[情報・設定]—[リアカメラ]で設定をONにしていると、リアビューカメラの映像を表示します。 (→ P.95) ・リアビューカメラ(別売品)を接続していない場合は、カメラ映像を表示しません。

はじめに

取り付け /
配線のしかた

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・
ビジュアル

情報・設定

オプション

付録

放送局を登録（プリセット）する

初めてご使用になる場合は、放送局が登録されていないため、初期スキャンを行ってください。

放送局をスキャンして、プリセットボタンに放送局を登録します。

1 [スキャン]をタッチします。



- 受信できる放送局を検索し、プリセットに登録します。



- スキャンすると、プリセットされていた内容はすべて消去され、新たにプリセットします。

番組表を見る

現在受信している放送局の番組表を表示できます。

1 [番組]をタッチする

- 操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。



- 番組表の番組リストをタッチすると、画面右に詳細情報を表示します。



- すでに放送時間がすぎた番組の番組表は表示できません。
- 番組表データは、電源をOFF/ONすると消去されます。

ワンセグ設定を切り替える

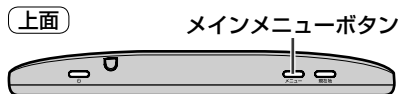
機能設定画面で各種機能を設定することができます。



- 【中継局サーチ設定】
中継局サーチ自動切替のON/OFFを切り替えることができます。
- 【音声/字幕設定】
音声や字幕の設定を切り替えることができます。
- 【情報確認】
ソフトウェアバージョン情報を確認することができます。
- 【ワンセグ設定初期化】
ワンセグ設定を初期化することができます。

各種情報・設定について

情報・設定画面では、GPS情報、バージョン情報などの表示や各種システムに関する設定、ナビ詳細設定画面では、ナビゲーションに関する設定のカスタマイズができます。



メインメニュー画面



ナビメニュー画面

メモリ地点の編集やナビの詳細設定などを行う画面を表示します。

ナビ詳細設定画面

地図、案内、ルートなどの設定をします。

情報・設定画面

画面、音量、リアビューカメラの設定と各種情報を表示します。

情報・設定

システムの項目については、92 ページの「システムの設定をする」と94 ページの「情報を確認する」をご覧ください。

ナビ詳細設定

本機のナビゲーションに関する項目を設定します。

項目	説明
地図	地図表示に関する設定をします。(→ P.88)
案内	ルート案内に関する設定をします。(→ P.88)
ルート	ルート探索に関する設定をします。(→ P.89)
その他	現在地や車両情報などの設定をします。(→ P.89)

はじめに
取り付け / 配線のしかた
基本操作
ナビゲーション
オーディオ・ビデオ
情報・設定
オプション
付録

ナビゲーションの設定をする

1 メインメニューボタンを押し、[ナビメニュー]をタッチして[ナビ詳細設定]をタッチする

2 設定する項目をタッチする



- [初期状態]: ナビ詳細設定をお買い上げ時の状態に戻します。
- 設定できる項目は以下の通りです。

■ 地図

項目	設定	説明
地図表示設定	—	地図色、文字サイズ、自車マークを設定します。(→ P.90)
一方通行マーク表示	ON*/OFF	一方通行マークを表示するかどうかを設定します。
走行軌跡表示	ON/OFF*	走行軌跡を表示するかどうかを設定します。(→ P.91)
走行軌跡消去	—	記憶されている走行軌跡を消去します。(→ P.91)
ゾーン30エリア表示	ON/OFF*	ゾーン30エリア(→ P.44)を表示するかどうかを設定します。

*: お買い上げ時の設定です。

■ 案内

項目	設定	説明
ターンリスト自動表示	ON/OFF*	ターンリスト(→ P.62)を自動で表示するかどうかを設定します。
レーンリスト表示	ON*/OFF	レーン情報(→ P.62)を表示するかどうかを設定します。
交差点案内図表示	ON*/OFF	交差点案内図・側道分岐イラスト・高速入口イラスト(→ P.64)を表示するかどうかを設定します。
高速分岐イラスト表示	ON*/OFF	高速道分岐イラスト(→ P.64)を表示するかどうかを設定します。
到着予想時刻用速度設定	一般道: 30 km/h* 有料道: 60 km/h* 高速道: 80 km/h*	到着予想時刻計算用の平均車速を5km/h単位で設定します。 • 一般道:5~60 km/h • 有料道:5~80 km/h • 高速道:5~120 km/h
方面看板表示	ON*/OFF	方面看板(→ P.43)を表示するかどうかを設定します。
ETCレーン表示	ON*/OFF	料金所に近づいたときにETCレーン案内(→ P.63)を表示するかどうかを設定します。
AV画面での地図割り込み表示	ON*/OFF	AV画面表示中に案内ポイントに近づいたときに、ルート案内画面を割り込ませるかどうかを設定します。

項目	設定	説明
ここです案内	一般道のみ ON*/ON/ OFF	ここです案内の表示(→ P.63)を設定します。
細街路での音声案内	ON*/OFF	細街路での音声案内を通知するかどうかを設定します。
県境案内	ON*/OFF	県境案内を通知するかどうかを設定します。
料金案内	ON*/OFF	料金案内を通知するかどうかを設定します。
一時停止案内	ON/OFF*	一時停止案内を通知するかどうかを設定します。
踏切案内	ON/OFF*	踏切案内を通知するかどうかを設定します。
合流案内	ON/OFF*	合流案内を通知するかどうかを設定します。

*: お買い上げ時の設定です。



- 「交差点案内図表示」をOFFにすると、側道分岐イラストと高速入口イラストも非表示になります。

■ ルート

項目	設定	説明
初期探索条件	推奨*/有料優先/ 一般優先/ 距離優先	ルート探索時に優先する項目を設定します。
スマートIC考慮	ON/OFF*	スマートインターチェンジをルート探索時に考慮するかどうかを設定します。
フェリールート利用	ON/OFF*	フェリー航路をルート探索時に考慮するかどうかを設定します。
ルート学習	ON*/OFF	学習済みのルートをルート探索時に考慮するかどうかを設定します。
ルート学習結果の消去	—	ルート学習結果を消去します。

*: お買い上げ時の設定です。



- スマートICでは、営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約がありますが、これらはルート探索では考慮されない場合があります。ご利用の際はご注意ください。

■ その他

項目	設定	説明
現在地修正	—	自車位置や向きがずれたときに、地図上の自車位置と向きを修正します。(→ P.90)
履歴消去	—	目的地履歴を消去します。
縮尺表示切替メッセージ	ON*/OFF	縮尺切替時に一定縮尺で表示に関する通知をするかどうかを設定します。
車両情報設定	—	車両情報の設定をします。(→ P.91)
逆走注意喚起メッセージ	ON*/OFF	逆走注意喚起メッセージを通知するかどうかを設定します。

*: お買い上げ時の設定です。

地図表示を設定する

地図の文字サイズや地図色など地図表示の設定をします。

1 「地図」の[地図表示設定]をタッチする



2 設定したい項目をタッチする



- 地図色:
自動*、昼、夜から地図色を設定します。
[自動]: [情報・設定]—[画面明るさ]—
[ナビ・その他]の設定に連動します。
(→ P.92)
- 文字:
小、中*、大から文字サイズを設定します。
- 自車:
パターン1*、パターン2、パターン3から自
車マークを設定します。

*: お買い上げ時の設定です。

自車の現在位置を修正する

地図表示の自車位置や向きが実際とずれたときに、
地図表示の自車位置と向きを修正します。

1 「その他」の[現在地修正]をタッチする



2 地図をスクロールして、自車マークを 実際の位置に合わせる (位置を修正)



3 [セット] をタッチする

4 〔または〕をタッチして、自車の向 きを設定する (向きを修正)



5 [セット] をタッチする

- 表示されているスクロール地図画面は、縮尺を変えることができます。
(→ P.44)
- 手順5で[セット]にタッチする前なら、何度でも自車位置や向きを修正しなおすことができます。
- この機能はGPSが未測位時にも設定することができます。

走行軌跡表示を設定する

地図画面に走行軌跡を表示するかどうかを設定します。走行軌跡は消去することもできます。

1 「地図」の[走行軌跡表示]をタッチする



- [ON]:
走行軌跡を表示します。
 - [OFF]*:
走行軌跡を表示しません。
- *: お買い上げ時の設定です。

走行軌跡を消去する

1 「地図」の[走行軌跡消去]をタッチして、[はい]をタッチする



- 走行軌跡は、現在地より過去1000kmの軌跡が保存されています。1000kmを超えると、古い軌跡から自動的に消去されます。
- [走行軌跡表示]を「OFF」に設定しても、保存されている走行軌跡は消去されません。

車両情報を設定する

車両ナンバーや全長、全幅、全高の設定をします。

1 「その他」の[車両情報設定]をタッチする



- ナンバー:
1/3/5・7¹/軽から車両ナンバーを設定します。
- 全長²:
450 cm以下~600 cm以上から長さを設定します。
- 全幅²:
160 cm以下~250 cm以上から幅を設定します。
- 全高²:
150 cm以下~300 cm以上から高さを設定します。

*1: お買い上げ時の設定です。

*2: お買い上げ時は未設定です。

システムの設定をする

本機のシステムに関する項目を設定します。

- 1 メインメニューボタンを押し、[情報・設定]をタッチする
- 2 設定する項目をタッチする



・ 設定できる項目は以下の通りです。

項目	説明
画面明るさ	ナビ・その他、映像ソース、リアカメラ表示の明るさを設定します。(→ P.92)
音量	案内音量、AV消音設定、操作音を設定します。(→ P.93)
リアカメラ*	リアビューカメラの映像を表示するかどうかを設定します。(→ P.95)
リアカメラガイド線*	リアビューカメラのガイド線を調整します。(→ P.97)
走行モード	走行モードを[ドライバーモード]と[助手席モード]から設定します。(→ P.93)
GPS	GPSの受信情報を表示します。(→ P.94)
バージョン	各アプリや地図データのバージョンを表示します。(→ P.94)
初期化	ユーザーが登録したデータ(登録地点、検索履歴など)を消去し、ユーザーが変更した設定をお買い上げ時の設定状態に戻します。(→ P.93)

*: リアビューカメラの設定は、別売品のリアビューカメラ(CMOS-230、CMOS-230W)と別売品のリアカメラ接続ケーブルを接続していない場合でも設定することができますが、リアビューカメラの映像は表示しません。

画面の明るさの設定をする

[ナビ・その他]、[映像ソース]、[リアカメラ]ごとに画面の明るさを設定します。

- 1 [画面明るさ]をタッチする
- 2 [ナビ・その他]、[映像ソース]、[リアカメラ] から設定する項目をタッチする



- 3 [オート]、[昼固定]、[夜固定] をタッチする

- ・ [オート]: オートに設定すると、明るさセンサーが周囲の明るさを感知し、昼間時と夜間時の設定を自動で切り替えます。
- ・ [昼固定]: 昼間時の設定に固定します。
- ・ [夜固定]: 夜間時の設定に固定します。

- 4 ■ または + をタッチして、明るさを設定する

音量の設定をする

案内音量、AV消音設定、操作音など、本機のサウンドに関する項目を設定します。

- 1 [音量]をタッチする
- 2 設定する項目をタッチする



・ 設定できる項目は以下の通りです。

項目	説明
案内音量	[- または +] をタッチして、案内音量を設定します。
AV消音設定	音声案内時のAV ソースの音量を[MUTE]、[OFF]から設定します。
操作音	操作音の[ON]/[OFF]を設定します。

走行モードの設定をする

本機の走行モードに関する項目を設定します。

- 1 [走行モード]をタッチする
- 2 [ドライバーモード] または [助手席モード] をタッチする



- ・ [ドライバーモード]: GPS、ジャイロセンサー、Gセンサーから車速を検出すると一部機能で走行規制を行います。走行規制に関しては12 ページの「動作の種類と走行中の制限について」をご覧ください。
- ・ [助手席モード]: 走行規制を行いません。

システムを初期化する

本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- 1 メインメニューボタンを押し、[情報・設定]をタッチして[初期化]をタッチする
- 2 初期化する項目をタッチする



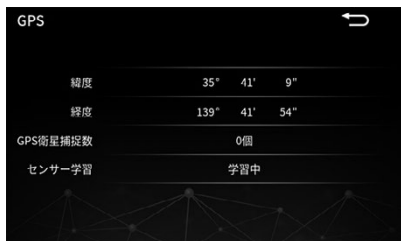
- ・ [工場出荷状態に戻す]: 本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。
- ・ [自律航法学習結果初期化]: 自律航法の学習結果のみを工場出荷状態に戻します。

情報を確認する

GPS の情報を確認する

GPSの受信状態とセンサーの学習状況を表示します。

1 [GPS]をタッチする



- 緯度・経度:
測位している現在地の緯度経度(世界測地系)を表示します。
- GPS衛星捕捉数:
捕捉しているGPSの数を表示します。
- センサー学習:
自律航法学習の状態を表示します。

センサーの学習について

本機は、GPS の情報と内蔵センサーの情報を元に、自転車位置精度を高めるためにセンサー学習を行っています。

一度学習した後も、常に変化に応じて再学習をしています。取り付け位置、取り付け角度を変更した場合や、強い衝撃を受けた場合に、自転車位置のずれが大きいうであれば、[自律航法学習結果初期化] (→ P.93)でセンサー学習のリセットを行ってください。

センサー学習をリセットした場合、しばらく走行すると新しくセンサー学習します。学習が完了すると、自転車位置精度が高まります。

■ 正しくセンサー学習をするには

- GPS 情報の受信が良好な場所で、安定した速度で直進走行してください。
- 障害物(建物、街路樹など)が少ない場所を走行してください。



- センサー学習中は、自転車位置がずれる場合があります。

バージョン情報を確認する

ソフトウェア、ナビアプリ、地図データのバージョンの表示とオープンソースライセンスを確認することができます。

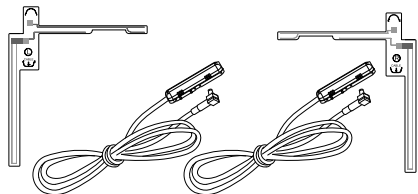
1 [バージョン]をタッチする



別売品について

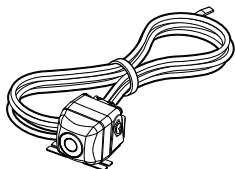
本機対応の別売品は以下になります。

テレビ用フィルムアンテナ (CX-P150F)

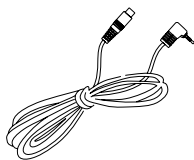


- フィルムアンテナは、EZ-950 のみ (L) と (R) を接続することができます。またEZ-550/EZ-750は、ワンセグ用として (L) または (R) を接続して使用することができます。

リアビューカメラ (CMOS-230/CMOS-230W)



リアビューカメラ接続ケーブル (CA-P150R)



リアビューカメラを使う

カメラを設定する

本機は、リアビューカメラを接続することができます。リアビューカメラには下記の機種が接続できません。

- スタンダードリアビューカメラ
CMOS-230* (別売品)、CMOS-230W* (別売品)



- * リアビューカメラ接続ケーブル CA-P150R (別売品) が必要です。

リアビューカメラ接続設定

- 1 メインメニューボタンを押し、[情報・設定] をタッチする
- 2 [リアカメラ] をタッチする



- 3 [ON] をタッチする



- [OFF]:
各画面にカメラボタンを表示しません。

リアビューカメラの映像を表示する

本機に接続したリアビューカメラの映像を表示します。
カメラの映像で後方確認をしてから車を後退させることができます。

- モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度(徐行)でご使用ください。
- リアビューカメラの映像を表示する場合は、一時停車してから操作してください。走行しながらの操作は、事故の原因になるので絶対にしないでください。

- リアビューカメラシステムは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画面の明るさを調整するときは、必ず安全なところに停車してから操作してください。

現在地図画面でリアビューカメラ映像を表示する

1 現在地図画面で、[Menu]をタッチする



2 [リアカメラ]をタッチする



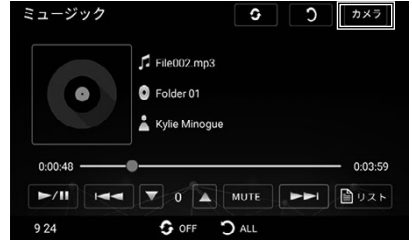
リアビューカメラの映像が表示されます。



- [情報・設定]—[リアカメラ]で設定をONにしていると、リアビューカメラの映像は表示されます。

各 AV 画面でリアビューカメラ映像を表示する

1 各AV画面で、[カメラ]をタッチする



リアビューカメラの映像が表示されます。



- [カメラオフ]: リアビューカメラの映像をOFFし、元の画面に戻ります。
- [ガイド線オフ]: ガイド線の表示/非表示を切り替えることができます。



- [情報・設定]—[リアカメラ]で設定をONにしていると、リアビューカメラを接続してなくても[リアカメラ]をタッチすることができますが、映像は表示されません。
- ルート案内中は、リアビューカメラの映像を表示しても音声案内は継続されません。

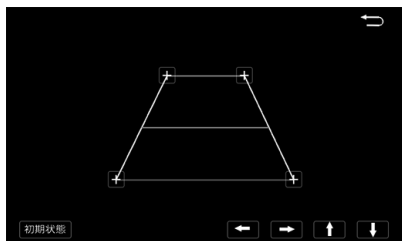
リアカメラガイド線の設定をする

リアビューカメラ映像に表示されるガイド線の位置を調整します。

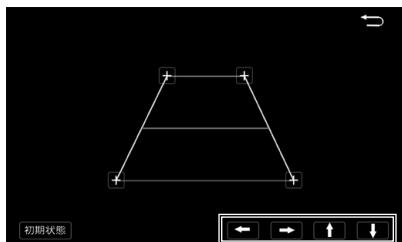
- 1 メインメニューボタンを押し、[情報・設定]をタッチする
- 2 [リアカメラガイド線]をタッチする



- 3 調整するカーソル(+)をタッチする



- 4 ←/→/↑/↓をタッチして、ガイド線の位置を調整する



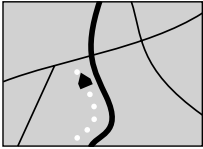
- [初期状態]:
ガイド線の位置を初期状態に戻します。

自車位置の測位精度について

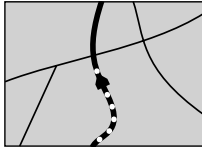
マップマッチング機能について

マップマッチングとは、道路から外れた自車の位置を、論理的に地図画面の道路に合わせる機能のことです。

GPS や自律航法による測位には誤差が生じることがあり、現在地を道路以外の場所(川や海の上など)に表示してしまうことがあります。このような場合に、「車が海や川の上を走るはずがない」という論理的判断に基づき、現在地近くの道路上に自動修正します。



マップマッチングしていない場合



マップマッチングしている場合

本機は、GPS と自律航法を併用して精度の高い測位を行った上でマップマッチング機能が動作するため、より正確な現在地を表示することができます。

内蔵センサーによる測位とは

内蔵の加速度センサーとジャイロセンサーを使って測位します。速度を加速度センサーで、曲がった方向をジャイロセンサーで検出して現在地を割り出します。

誤差について

本機は、GPS と自律航法を併用した精度の高い測位に加えて、さらにマップマッチング機能を動作させて誤差を最小限にしています。しかし、さまざまな条件や状況によって、これらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることもあります。

■ GPS 測位不能によって生じる誤差について

- 1) 次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波が遮断されて電波を受信できないため、GPS による測位ができなくなることがあります。
 - トンネルの中やビル内の駐車場
 - 2層構造の高速道路の下
 - 高層ビルなどの間
 - 密集した樹木の間
- 2) GPS アンテナの近くで携帯電話を使っている場合、電波障害の影響で一時的にGPS 衛星からの電波を受信できなくなるため、GPS による測位ができなくなることがあります。
- 3) 3基以下のGPS 衛星の電波しか受信できない場合は、GPS による測位はできません。

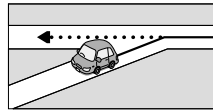
GPS 衛星自体の原因により生じる誤差について

- 1) 電波を受信しているGPS 衛星の配置が悪いとき(衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき)には、十分な精度が得られないことがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 2) GPS 衛星による測位では、高さ方向の精度は、水平方向と比べると誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できませんが、下(地球の裏側)に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

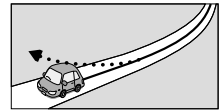
その他の誤差について

以下に示す状況の場合も、測位の誤差が大きくなります。

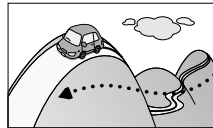
角度の小さいY字路を走行した場合



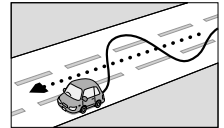
直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後



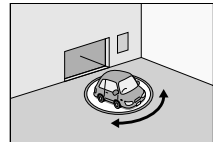
勾配の急な山道や、高低差のある道路を走行した場合



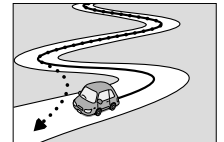
蛇行運転をした場合



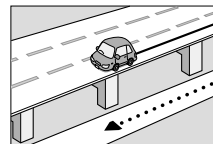
駐車場などのターンテーブルで旋回した場合



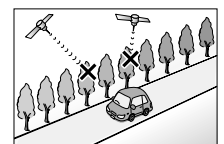
ヘアピンカーブが続いた場合



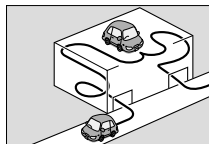
高速道路と側道などが隣接している場合



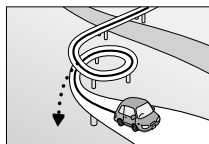
GPS による測位ができない状態が長く続いた場合



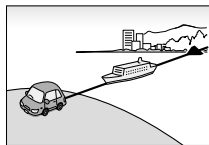
立体駐車場などで、旋回
や切り返しをくり返した
場合



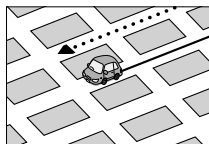
ループ橋などを走行した
場合



フェリーや車両運搬車な
どで移動した場合

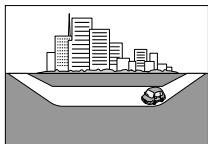


暮盤の目状の道路を走行
した場合



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合
- 地図と実際の道路形状が異なる場合

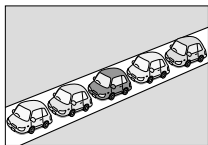
地下駐車場やトンネルな
ど、GPS 衛星による測
位が長時間できない場合



地図データにはない、新
設道路を走行した場合



渋滞などで、低速で発進
や停車をくり返した場合



低速時の測位精度について

渋滞中や駐車場などで時速数km 程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されない場合があります。

地図の道路データについて

地図画面に道路が表示されていても、その道路をルート探索できない場合があります。そのような道路にはマップマッチングもできない場合があります。

準天頂衛星について

従来GPS 衛星からの信号に加え、準天頂衛星からの信号を受信することで、山間部やビル街でも測位精度を向上することができます。

(準天頂衛星初号機「みちびき」が稼働中です。現時点では、受信できる時間帯に制限があります。また、季節によって時間帯は異なります。)

地図記号の凡例

画面に表示される地図では、次の地図記号を使用しています。

記号	名称	記号	名称	記号	名称
	信号機		公共施設・図書館		マリーナ
	山		警察		サーキット
	緑地・公園		消防		テニスコート
	工場・採鉱地・採石地・研究所・浄水場・終末処理場		病院・保健所		美術館・博物館
	トンネル		郵便局		動物園
	ビルアパート名称		NTT		植物園
	SA		学校		水族館
	PA		幼稚園・保育園		ホール
	IC		自動車学校		統合リゾート
	スマートIC		温泉・銭湯		神社
	料金所		遊園地・テーマパーク		寺院
	パーキング		競馬場・乗馬場		教会
	道の駅		キャンプ		城・城跡
	飛行場		ボウリング場		史跡名勝・天然記念物・陵墓・遺跡
	ヘリポート		スポーツ施設・スタジアム・競輪場・競艇場・オートレース		牧場
	港		ゴルフ場・ゴルフ練習場		デパート/スーパー・ディスカウントストア
	フェリー		野球場		宿泊施設
	展望タワー・展望台		スキー		その他の目的物
	灯台		海水浴場・プール		
	墓地				



・表示されるマークの位置は、実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示されることもあります。

サービスエリア(SA)やパーキングエリア(PA)などの施設の設備は次のマークで表示されます。

記号	名称	記号	名称	記号	名称
	SA		レストラン		FAX
	PA		ドラッグストア		ショッピング
	IC		仮眠施設		休憩所
	スマートIC		お風呂		スナック
	JCT		ATM		トイレ
	料金所		インフォメーション		ハイウェイオアシス
	ガソリンスタンド		郵便局・ポスト		

※ ガソリンスタンドのマークは、元売り各社のロゴで表示されます。

はじめに

取り付け /
配線のしかた

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・
ビジュアル

情報・設定

オプション

付録

地図データベースについて

- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。
©2017 一般財団法人日本デジタル道路地図協会（測量法第44条に基づく成果使用承認）[2020年3月発行データ使用]
 - この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料 H・1 - No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。（承認番号 国地企調第180号 平成22年9月28日）
 - この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分1国土基本図を使用した。（承認番号 平30情使、第256号-46号）
 - このデータは、国土地理院の技術資料 C1-No.445「小笠原諸島西之島周辺の正射画像（平成26年12月10日撮影）」を利用して作成したものである。
 - この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地図情報）、数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地名情報）及び基盤地図情報を使用した。（承認番号 令元情使、第320号-46号）
 - 上記以外の本地図データの権利関係については、下記ページをご確認ください。
URL: https://www.incrementp.co.jp/aboutmap/2020_2.pdf
- **タウンページデータ/Bellemax®データについて**
 - タウンページデータは、NTT タウンページ株式会社が提供する2020年3月現在のデータを収録しています。
 - 訪問宅（個人宅）電話番号データ（Bellemax®データ）は、日本ソフト販売株式会社が提供する「Bellemax®」2020年3月現在のデータを収録しています。
 - 元のデータそのものが、実際の位置と異なる場合があります。
 - 一部のデータでは、ピンポイント検索できない場合があります。その場合、その地区の代表地点が表示されます。
- **住所データについて**
 - 住所データについては2020年4月時点の住所マスターデータを使用しています。
 - 市区町村合併については、2020年10月1日施行分まで対応しています。但し、2020年4月時点で取得できた情報までに限ります。
- **料金データについて**
 - 高速道路（有料道路を含む）料金データは、2020年3月調査で2020年10月1日時点の軽自動車・中型自動車・普通自動車のデータです。
- **交通規制データについて**
 - 本製品に使用している交通規制データは、2020年3月現在のものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従ってください。
- **駐車場データについて**
 - 駐車場データは、2020年10月1日まで対応しています。但し、20年4月時点の独自調査で取得できた情報までに限ります。

■ 施設情報及び個人情報(電話番号)について

- 電話番号検索は、Bellemax[®]及びタウンページのデータを使用しています。
- これらの情報は本ソフトウェア作成後、変更されている場合があります。
- 本ソフトに格納されるあらゆるデータ、個人情報については、購入者の責任において使用するものとし、当社は何らの責を負いません。また、これらの情報に誤りがあった場合でも、当社は何らの責を負いません。なお、個人情報の削除・掲載・修正に関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

■ 注意事項

- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。
- 収録するデータはその正確性を保証するものではありません。データ内容の誤りに対して、取替え、代金の返却は致しかねます。
- 本データを使用したことによって生じたお客様及び第三者のいかなる損害についても、弊社は一切その責任を負いかねます。

©2017(一般財団法人)日本デジタル道路地図協会

©2021 INCREMENT P CORPORATION

ソフトウェア使用許諾契約書

【本製品をご使用前に必ずお読みください】

このポータブルナビゲーション製品本体（以下、「本システム」）及び同梱品（併せて、以下、「本製品」）には、株式会社 JVC ケンウッド（以下、「ライセンサー」）のソフトウェア、及び/または複数のソフトウェアライセンサー（以下、「ソフトウェア供給者」）から当社に対して許諾されたソフトウェア（併せて、以下、「許諾ソフトウェア」）が含まれています。許諾ソフトウェアは、ソフトウェアに関連する書類、マニュアルその他の印刷物を含みます。書類及び印刷物は、オンラインまたは電子媒体で供給するものを含みます。

お客様（以下、「使用者」）は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、本製品をご使用いただくものと致します。使用者が本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的にまたは間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

【使用許諾契約書】

第 1 条（総則）

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ第 3 条第 1 項に定める例外を除き譲渡不能な使用権を使用者に許諾します。

第 2 条（使用権）

1. 本契約によって生ずる使用権とは、許諾ソフトウェアの本製品を使用する権利をいいます。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をすることができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的を含まずに関わらず、いかなる目的でも頒布することができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの複製、複製を行ってはならないものとします。また、指定 PC へのネットワーク接続を用いて、使用者以外の第三者にこれを使用させることは許されていません。

第 3 条（許諾条件）

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用権については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

第 4 条（許諾ソフトウェアの権利）

許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用、再許諾を許した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第 5 条（ライセンサーの免責）

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第 6 条（第三者に対する責任）

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第 7 条（秘密保持）

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第 8 条（契約の解除）

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第9条（許諾ソフトウェアの廃棄）

前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第10条（著作権保護）

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び現権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権法及びその関連の法律に従うものとします。

第11条（輸出規制）

1. 許諾ソフトウェアを日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した国外送信を含みます）はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国及びアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに適用される一切の国際法及び国内法（アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます）に従うことに同意するものとします。

第12条（その他）

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。
4. 本契約書の各条項は、代わりに契約書が提供されない限り、許諾ソフトウェアのバージョンアップ後のソフトウェアにも適用されるものとします。

以上

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに株式会社 JVC ケンウッドまたは第三者の著作権が存在します。

本製品は、株式会社 JVC ケンウッド及び第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント（以下、「EULA」といいます）に基づくソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public License または Lesser General Public License または「GPL/LGPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めています。当該「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧ください。ホームページアドレス
<https://www.kenwood.com/gpl/j.html>

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えしかねますので、あらかじめご了承ください。

「GPL/LGPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアコンポーネント及び株式会社 JVC ケンウッド自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示かつ黙示であるかを問わず一切ありません。

適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害について何らの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは株式会社 JVC ケンウッド以外の第三者による規定のため、原文（英文）を本製品に掲載します。掲載場所は [情報・設定] - [バージョン] の [オープンソースライセンス] です。

故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店またはJVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

■ 共通

症状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない。	シガープラグコードの接続が不完全。	接続を確認してください。
	車のシガープラグソケットが汚れている。または、さびている。	車のシガープラグソケットの汚れ、さびを取り除いてください。
	電源が入っていない。	電源ボタンを約2秒押し続けて電源を入れてください。
	本機の電源を切ってからすぐに電源ボタンを約2秒押しした。	故障ではありません。少し待ってから電源を入れてください。
電源が切れる。	車のバッテリー電圧が低くなっている。	車のバッテリー電圧を確認してください。バッテリー電圧が11V以下の場合、本機の電源が切れる場合があります。
		アイドリングストップ車の場合、アイドリングストップ中のバッテリー電圧を確認してください。バッテリー電圧が11V以下の場合、車両メーカーにお問い合わせください。
映像が出ない。	明るさ調整が一番暗い設定になっている。	明るさを調整してください。
	スクリーンオフ（画面消し）になっている。	画面をタッチするか、メインメニューボタンまたは現在地ボタンを押して映像を表示してください。
本機に登録されていた情報（登録地点など）が消失している。	本機の使用を誤ったり、修理を依頼したなどにより本機に保存した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。
本機が正しく動作しない、または画面が正しく表示されない。	何らかの動作エラーが発生した。	本機の電源を切って、少し待ってから電源を入れてください。または、本体のリセットボタンを押してください。
タッチパネルが操作できない。	液晶ディスプレイに保護シートが貼ってある。	タッチパネルが誤作動したり反応しない場合があります。保護シートを取り外しでご使用ください。
リアビューカメラに切り替わらない。	リアビューカメラが正しく接続されていない。	取付説明書を参照して、正しく接続してください。
	リアビューカメラの設定が[OFF]になっている。	リアビューカメラの設定を[ON]にしてください。(→ P.95)

■ ナビ機能

症状	考えられる原因	対処方法
現在地が正しく表示されない。	走行条件やGPS衛星の状態により、現在地(自転車)マークがずれた。	GPS 衛星電波を受信してください。
	車内で使用中の機器(ETC車載器、無線機、レーダー探知機、ドライブレコーダーなど)による電波干渉。	使用中の機器の電源を切ってください。または取付位置を変更する、もしくは、取付業者にご相談ください。
	本機の取り付け角度が変わるなど、何らかの要因により、自律航法の学習内容にずれが生じた。	自律航法学習結果の初期化(→ P.93)を行い、GPS衛星電波をさえぎる障害物がない見晴らしのよい場所をしばらく走行してください。(→ P.66)
	一般道路と有料道路が隣接しているため、実際に走行している道路と異なる道路を案内されている。	再探索画面から[一般道から探索]、[高速道から探索]をタッチして実際に走行している道路に切り替えてください。
	取り付け/操作する場所がGPS衛星電波をさえぎる後部座席等になっている。	ダッシュボード(前部座席)に設置してください。
起動すると現在地(自転車)マークが新宿駅(東京都新宿区西新宿)付近を表示する。	初めてご使用になるときや、初期化してお買い上げ時の状態に戻した場合は、現在地を測位するまで現在地(自転車)マークは新宿駅(東京都新宿区西新宿)付近を表示します。	現在地周辺の地図が表示されるまで、見晴らしのよい場所をしばらく走行してください。
走行しても地図がスクロールしない。	地図スクロールして現在地表示になっていない。	[現在地]ボタンを押してください。
	低速で走行している。	時速約5 km以上で走行してください。
現在地(自転車)マークが表示されない。	地図スクロールして現在地表示になっていない。	[現在地]ボタンを押してください。
地図画面のGPSマークがいつまでも赤色のまま。	GPSアンテナ(本体上面に内蔵)の上に障害物があるため、GPS衛星電波を受信できない。	本体上面を塗装したり、シールを貼ったりしないでください。
	トンネルや屋内、高層ビル付近などGPS衛星電波を受信しにくい場所にいる。	電波が受信しやすい、見晴らしのよい場所へ移動してください。
再探索時、経由地(追加目的地)を探索しない。	すでに経由地を通過した、または通過したと判断した。	通過した経由地を再び経由したい場合は、再度ルート設定を行ってください。
ルート情報が表示されない。	ルート探索を行っていない。	目的地を設定し、ルート探索を行ってください。
	ルート案内が[案内中止]になっている。	メインメニューボタン→[ナビメニュー]→[案内再開]で、ルート案内を再開してください。
ルート探索後、有料道路出入口付近を通っても、案内記号が表示されない。	現在地(自転車)マークが探索されたルートを走行していない。	探索されたルート上を走行してください。(案内記号は、探索されたルート内容に関係がある案内記号のみ表示します。)
経由地が設定できない。	すでに経由地を5か所設定している。	設定できる経由地は5か所までです。数回に分けてルート探索を行ってください。

症状	考えられる原因	対処方法
音声案内しない。	探索されたルートを外れている。	探索されたルートに戻るか、再探索を行ってください。
	ルート案内が[案内中止]になっている。	メインメニューボタン→[ナビメニュー]→[案内再開]で、ルート案内を再開してください。
実際の道路と案内が異なる。	案内の内容は右左折する方向、他の道路との接続形態などにより異なった内容になる場合があります。	実際の交通ルールに従って走行してください。
探索されたルートが表示されない。	目的地の近くに道路がない。	目的地近くの道路まで位置修正してください。特に、上り下りで道路が別々に表示されているような場所では進行方向に注意のうえ、道路上に目的地や経由地を設定してください。
遠回りなルートを探索する。	探索では、細街路 ¹ を使用しないエリア ² があるため、遠回りなルートになることがあります。	細街路 ¹ 以外の道路に近づけて設定してください。
	出発地、目的地付近の道路に規制がある(一方通行など)ときは、遠回りのルートを探索することがあります。	出発地や目的地を少しずらして設定してください。または、通りたいルートに経由地を設定してください。
実際の道路と案内が違う。地図上のランドマーク/アイコン/記号の表示が実際と異なる。	—	地図データ作成時期により、実際の状況と異なる場合があります。
出発地、経由地、目的地から離れた地点にルートが引かれる。	地図上の出発地、経由地、目的地付近に経路探索用のデータが入っていないため、ルート案内の開始、経由、終了点が離れてしまう。	目的地近くの道路上に目的地を設定してください。ただし、近くの道路が細街路 ¹ の場合、少し離れた一般道路からルートが引かれる場合があります。
ナビ詳細設定の車両情報設定画面で適切な車種に設定したのに、道幅の狭いルートを案内する。	車両情報設定は高速道路、有料道路の料金計算などに利用し、車種に適した道幅を考慮したルート探索は行わないため。	狭すぎて通行できないルートを案内することがありますので、必ず実際の道路状況や交通規制に従って走行してください。
「地図データが読めません」と表示され、ナビが起動しない。	地図データが破損している。	お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
	本体ストレージが故障している。	

*1：細街路とは道幅5.5 m 未満の道路のことです。

*2：政令指定都市、及び県庁所在地以外(ナビアプリの更新により変わることがあります。)

■ AV 機能

症状	考えられる原因	対処方法
音が出ない。	ヘッドフォンが接続されている。	ヘッドフォンを取り外してください。
音質が悪い(音がひずむ)。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
映像が映らない。	走行中、またはナビ画面を表示中。	走行中、またはナビ画面を表示中は映像を見ることはできません。

■ ファイル再生

症状	考えられる原因	対処方法
ファイルを再生できない。	本機で再生できないフォーマットで記録されている。	再生できるフォーマットを確認してください。(→ P.14)
	ファイルに拡張子が付いてない。	正しい拡張子を付けてください。(→ P.14)
	ビデオファイルの作成ソフトによっては再生できない場合があります。	—
	ビデオファイルのファイルサイズが大きい。	本機ではファイルサイズが4GB以下のビデオファイルが再生できます。

■ 地デジ / ワンセグ

症状	考えられる原因	対処方法
何も受信できない。	ロッドアンテナが格納されている。	ロッドアンテナを伸ばしてください。
	スキャンされていない。	チャンネルスキャンをしておいてください。 地デジ:(→ P.84) ワンセグ:(→ P.86)
字幕が表示されない。	字幕が放送されていない。	—
地デジ / ワンセグ放送が受信できない。	車の場所が、地デジ / ワンセグ放送の放送エリアではない。受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
映像が乱れる。 映像が止まる。 音声途切れる。	障害物や放送局からの距離等によって、受信状態が悪くなっている。	受信状態のいい場所に移動してください。

メッセージ

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

■ ナビ

症状	考えられる原因
ルートが探索できませんでした。	• ルート案内できない地点を「目的地」「経由地」にしています。

■ AV(共通)

症状	考えられる原因
再生可能なファイルがありません。	再生対応しているオーディオ/ビデオ/ピクチャーファイルかどうかを確認してください。
ファイルスキップしました。	再生できないファイルです。再生可能な次のファイルへスキップします。

主な仕様

■ ナビゲーション本体

外形寸法(幅×高さ×奥行き) ※突起物は除く	EZ-950: 228 mm × 142 mm × 23 mm EZ-750: 183 mm × 116 mm × 22 mm EZ-550: 134 mm × 85 mm × 19 mm
質量	EZ-950:約510 g EZ-750:約320 g EZ-550:約190 g
推奨動作温度	-10℃~+60℃

■ 電源

電源電圧	DC5 V(シガープラグコード使用時)
消費電流	EZ-950:2.0 A EZ-750:1.8 A EZ-550:1.6 A
消費電力	EZ-950:(参考) 10 W(ナビゲーション時) EZ-750:(参考) 7.5 W(ナビゲーション時) EZ-550:(参考) 6.0 W(ナビゲーション時)

■ 液晶ディスプレイ

画面寸法	EZ-950:9inch EZ-750:7inch EZ-550:5inch
解像度	WVGA(横800 x 縦480)
有効画素数	99.99 %
表示方式	TFT LCD
駆動方式	TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリックス方式
使用光源	LED バックライト
タッチパネル	静電式

■ 内蔵スピーカー

スピーカー	モノラル
最大出力	1.2 W×1

■ 内蔵GPS/センサー

受信可能衛星	GPS QZSS(準天頂衛星) GLONASS SBAS
内蔵センサー	ジャイロ&加速度センサー (3軸対応)

■ 入出力端子

電源入力	DC5 V
リアビューカメラ入力端子	φ2.5 mm端子、2極
ヘッドフォン出力端子	φ3.5 mm端子、3極
テレビアンテナ端子	専用コネクタ(MCX)

■ 地デジ/ワンセグ

受信方式	地上デジタル放送
受信チャンネル	UHF13 ~ 52ch
アンテナ	収納式5段階

■ SDメモリーカード

対応SD	microSD/SDHC
ファイルシステム	FAT16/FAT32

■ 対応メディア(SD)

MUSIC	MP3
VIDEO	MP4
PICTURE	JPEG

■ シガープラグコード

使用電源	DC12 V / DC24 V マイナスアース
ヒューズ	2 A
長さ	1.9 m
出力電圧	DC5 V
質量	約70 g

■ 吸盤スタンド

吸盤寸法(直径)	94 mm
質量	約160 g(吸盤スタンド単体)
スタンド用ストラップの長さ	0.50 m

これらの仕様及びデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

特許権 / 著作権 / 商標など

「タウンページ」は、NTT 東日本及びNTT 西日本の登録商標です。

This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

SDHC ロゴはSD-3C LLC の商標です。

USB Type-C[®] およびUSB-C[®] はUSB Implementers Forumの商標商標です

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

The FreeType Project LICENSE

2006-Jan-27

Copyright 1996-2002, 2006 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg

Introduction

=====

The FreeType Project is distributed in several archive packages; some of them may contain, in addition to the FreeType font engine, various tools and contributions which rely on, or relate to, the FreeType Project.

This license applies to all files found in such packages, and which do not fall under their own explicit license. The license affects thus the FreeType font engine, the test programs, documentation and makefiles, at the very least.

This license was inspired by the BSD, Artistic, and IJG (Independent JPEG Group) licenses, which all encourage inclusion and use of free software in commercial and freeware products alike. As a consequence, its main points are that:

- We don't promise that this software works. However, we will be interested in any kind of bug reports. ('as is' distribution)
- You can use this software for whatever you want, in parts or full form, without having to pay us. ('royalty-free' usage)
- You may not pretend that you wrote this software. If you use it, or only parts of it, in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you have used the FreeType code. ('credits')

We specifically permit and encourage the inclusion of this software, with or without modifications, in commercial products.

We disclaim all warranties covering The FreeType Project and assume no liability related to The FreeType Project.

Finally, many people asked us for a preferred form for a credit/disclaimer to use in compliance with this license. We thus encourage you to use the following text:

Portions of this software are copyright ? <year> The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

Please replace <year> with the value from the FreeType version you actually use.

はじめに

取り付け /
配線のしかた

基本操作

ナビゲーション

オーディオ・
ビジュアル

情報・設定

オプション

付録

Legal Terms

0. Definitions

Throughout this license, the terms 'package', 'FreeType Project', and 'FreeType archive' refer to the set of files originally distributed by the authors (David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg) as the 'FreeType Project', be they named as alpha, beta or final release.

You' refers to the licensee, or person using the project, where using' is a generic term including compiling the project's source code as well as linking it to form a 'program' or 'executable'.

This program is referred to as 'a program using the FreeType engine'.

This license applies to all files distributed in the original FreeType Project, including all source code, binaries and documentation, unless otherwise stated in the file in its original, unmodified form as distributed in the original archive.

If you are unsure whether or not a particular file is covered by this license, you must contact us to verify this.

The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below.

1. No Warranty

THE FREETYPE PROJECT IS PROVIDED 'AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT.

2. Redistribution

This license grants a worldwide, royalty-free, perpetual and irrevocable right and license to use, execute, perform, compile, display, copy, create derivative works of, distribute and sublicense the FreeType Project (in both source and object code forms) and derivative works thereof for any purpose; and to authorize others to exercise some or all of the rights granted herein, subject to the following conditions:

- Redistribution of source code must retain this license file ('FTL.TXT') unaltered; any additions, deletions or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation. The copyright notices of the unaltered, original files must be preserved in all copies of source files.
- Redistribution in binary form must provide a disclaimer that states that the software is based in part of the work of the FreeType Team, in the distribution documentation. We also encourage you to put an URL to the FreeType web page in your documentation, though this isn't mandatory.

These conditions apply to any software derived from or based on the FreeType Project, not just the unmodified files. If you use our work, you must acknowledge us. However, no fee need be paid to us.

3. Advertising

Neither the FreeType authors and contributors nor you shall use the name of the other for commercial, advertising, or promotional purposes without specific prior written permission.

We suggest, but do not require, that you use one or more of the following phrases to refer to this software in your documentation or advertising materials: 'FreeType Project', 'FreeType Engine', 'FreeType library', or 'FreeType Distribution'.

As you have not signed this license, you are not required to accept it. However, as the FreeType Project is copyrighted material, only this license, or another one contracted with the authors, grants you the right to use, distribute, and modify it. Therefore, by using, distributing, or modifying the FreeType Project, you indicate that you understand and accept all the terms of this license.

4. Contacts

There are two mailing lists related to FreeType:

- freetype@nongnu.org
Discusses general use and applications of FreeType, as well as future and wanted additions to the library and distribution.
If you are looking for support, start in this list if you haven't found anything to help you in the documentation.
- freetype-devel@nongnu.org
Discusses bugs, as well as engine internals, design issues, specific licenses, porting, etc.

Our home page can be found at
<https://www.freetype.org>

索引

A

AV ソース切替 79

B

B-CAS カード 16

B-CAS カードの挿入 / 取り出し 37

E

ETC レーン 63

G

GPS 94

GPS マーク 43

M

Menu 43

S

SD メモリーカード 13

SD メモリーカードの再生 80

SD メモリーカードの挿入 / 取り出し 37

かな

あ

案内の開始 59

案内の中止 72

案内の再開 73

い

一般道路のルート案内 62

緯度経度検索 56

インターチェンジの変更 71

え

営業時間外表示 50

エコルート 60

お

オーディオファイルの再生 80

音声案内 65

か

画面の明るさ設定 92

き

逆走注意喚起 65

吸盤スタンド 22

け

経由地（追加目的地）の追加 67

現在地図画面 43

こ

交差点案内 64

高速道路のルート案内 63

高速道路分岐 64

ここです案内 63

さ

サウンド設定 93

し

シガープラグコード 36

自宅に帰る 48

自宅の登録 48

自宅の編集 49

自宅の削除 49

市街地図 45

周辺施設検索 58

周辺施設の表示 41

ジャンル検索 55

住所検索 53

システムの設定 92

情報の確認 94

自転車位置修正 90

車両情報の設定 91

初期化 93

せ

センサー学習 94

そ

走行／停車判定	12
走行軌跡表示	91
走行モードの設定	93
ゾーン 30	44
側道分岐	64
測位精度	98

た

ターンリスト	62
タッチパネル	38

ち

地図のスクロール	46
地図表示の切替	45
地図の縮尺	44
地図記号	100
地デジを見る	83

て

デモ案内	61
テレビ用フィルムアンテナ	29
電源	35
電話番号検索	54

な

内容物	19
ナビゲーションの設定	88

は

バージョン情報	94
---------	----

ひ

ビデオファイルの再生	81
ピクチャーファイルの再生	81

ふ

フィルムアンテナ (テレビ用)	29
-----------------	----

ほ

方面看板	43
------	----

め

名称検索	51
メインメニュー	39
メモリ地点検索	55
メモリ地点の登録	74
メモリ地点の編集	75
メモリ地点の削除	77

も

目的地の確定	59
目的地設定の解除	73
目的地・経由地 (追加目的地) の入替	70
目的地・経由地 (追加目的地) の削除	70
文字入力	41

ら

ランドマークの情報	44
-----------	----

り

履歴検索	57
リアビューカメラ	95

る

ルート案内画面	62
ルート案内の開始	59
ルート案内の中止	72
ルート案内の再開	73
ルート探索方法の設定	59
ルートの再探索	66
ルートの編集	67
ルート学習	66

れ

レーンリスト	62
--------	----

わ

割り込み表示	63
ワンセグを見る	85

MEMO

保証とアフターサービス

保証について

- 保証書 この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日より1年です。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたは JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ホームページ
<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>
- JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター
フリーダイヤル 0120-2727-87
携帯電話、PHS からは 0570-010-114 (ナビダイヤル)
IP 電話などからは 045-450-8950
(受付時間などは、裏表紙を参照してください。)

修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」(→ P.106) を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…

お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

● 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。

製品を修理のために、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスセンターにお持ちになるときは、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。本機と一緒に持ち込まれるユニットなどがある場合は、SDカードやB-CASカードなどのメディアはあらかじめ取り出してください。

● 車両からの取り外し / 取り付けについて

修理をご依頼される場合は、製品を車両から取り外した状態でお買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスセンターにお持ちください。

なお、保証期間の内外に関わらず、修理、点検のために製品を車両から取り外したまたは取り付けした場合の作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。

● 修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。)

- 技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。



株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)
0570-010-114 (携帯電話、PHSからはナビダイヤル)
045-450-8950 (一部IP電話など) / FAX 045-450-2308
住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付時間 月曜～金曜: 9:30～18:00
土曜: 9:30～12:00、13:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。